



| I. 工事概要 岡山市建築改修工事特記仕様書   |                           |   |                |
|--|---------------------------|---|----------------|
| 工事名称   | 水産棟オーバーバースライダ改修工事         |   |                |
| 工事場所   | 岡山市南区市場1丁目1番地             |   |                |
| 敷地面積   | 159,004.00 m <sup>2</sup> |   |                |
| 棟名称 / 構造   | 水産卸売棟                     | S造  | 棟造             |
| 施工条件   | ・無人改修                     | ・有人改修   | ・無人改修          |
| 床面積(m <sup>2</sup> )   | 1階                        | 13,172.30   | m <sup>2</sup> |
|  | 2階                        | 1,598.36  | m <sup>2</sup> |
|  | 3階                        | 2,509.36  | m <sup>2</sup> |
|  | 階                         |   |                |
|  | 小計                        | 17,280.02   | m <sup>2</sup> |
| 合計   |                           | 17,280.02   | m <sup>2</sup> |
| 建築面積(m <sup>2</sup> )  | 14,333.02 m <sup>2</sup>  |   |                |
| 消防法施行令別表第一区分   |                           |   |                |
| 建ぺい率(指定率)  | 80%(%)                    | 容積率(指定率)  | 400%(%)        |
| 用途地域   | 商業地域                      | 防火地域  | ・防火地域          |
| 工事範囲   |                           | 別途工事  |                |
| II. 建築改修工事仕様   |                           |   |                |
| 1. 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)又は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」による。 |                           |   |                |
| 2. 「岡山市内の公共建築物における県産材等の利用促進に関する方針」(023.11.1)により、県産材等の積極的な利用に努めること。県産材とは、岡山県の「木材業者登録」を受けている製材業者が加工・加工した製品とする。   |                           |   |                |
| 2. 特記仕様  |                           |   |                |
| (1) 項目は番号で○印のついたものを適用する  |                           |   |                |
| (2) 特記事項は○印のついたものを適用する   |                           |   |                |
| ○印のつない場合は、※印のついたものを適用する  |                           |   |                |
| ○印と※印のついた場合は共に適用する   |                           |   |                |
| (3) 項目に記載【 】の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  |                           |   |                |
| (4) G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品を示す。   |                           |   |                |
| (5) 関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。  |                           |   |                |
| (6) 材料及び製造所等の記載は限りなくである。   |                           |   |                |
| (7) 「監督職員」は「監督員」と読み替える。  |                           |   |                |
| 章  | 項目                        | 特記事項  |                |
| ① 一般共通事項   | ① 適用基準等                   | ※建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>(以下「標準詳細図」という)<br>※営繕工事写真撮影要領(令和3年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修   |                |
|  | ② 電気保安技術者                 | 配置する  |                |
|  | ③ 施工条件                    | ○施工時間帯 ※指定なし・指定あり( PM1:00~PM6:00 )<br>○施工ができない日等 ※指定なし ○指定あり(別添「市場行事に伴う施工ができない日等(予定)」に基づき監督職員と協議するものとする)<br>○部位別の施工順序 ※指定なし・指定あり(・図示・)<br>・工事車両の駐車場所(※図示・)<br>・資機材置場(※図示・)<br>・建設発生土仮置場(※図示・)   |                |
|  | ④ 工事安全計画書                 | 建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)に基づき、工事の施工に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する   |                |
|  | ⑤ 養生材の処理等                 | ・引渡しを要するもの( )<br>・特別管理産業廃棄物( )<br>処理方法( )<br>・現場において再利用を図るもの( )<br>○再生資源化を図るもの<br>○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材<br>・せつこうボードの処理<br>・石綿含有せつこうボード 9章による<br>・ひ素・カドミウム含有せつこうボード<br>・製造業者に回収委託<br>・埋立処分(管理型最終処分場)<br>処分施設の名称( )<br>所在地( )<br>・石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせつこうボード<br>・再生資源化(再生資源化施設) ・最終処分(管理型最終処分場)<br>処分施設の名称( )<br>所在地( )<br>・PCB含有シーリング材の処理<br>・第一次判定<br>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する<br>採取箇所数 計 箇所<br>採取箇所 ※図示<br>・第二次判定<br>専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う<br>分析箇所数 計 箇所<br>除去処理工事<br>除去範囲 ※図示   |                |
|  | ⑥ 環境への配慮                  | 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。<br>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼン含有量が少ない材料を使用する。<br>3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)含有しない難揮発性の可塑剤を除くが添加されていない材料を使用する。<br>4) 1) の材料を使用し得た家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。<br>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。<br>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外に該当する建築材料<br>①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外の材料<br>②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料<br>ホルムアルデヒド放散量 第三種に該当する建築材料<br>①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料<br>②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |                |

| 7           | 材料の品質等   |
|-------------|--|
| [1. 4. 2~5] | 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。<br>2) 本工事に使用する材料のうち、3)に指定する材料の製造業者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等)を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。<br>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されているもの<br>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの<br>(3) 安定的な供給が可能であるもの<br>(4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得しているもの<br>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの<br>(6) 販売、保守等の営業体制が整えられているもの。(なお、システムとして機能するものについては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられているもの)<br>3) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料<br>床型枠用鋼製デッキプレート 錠前類 煙突用成形ライニング材<br>鉄骨柱下無収縮モルタル クローザ類 天井点検口<br>無収縮グラウト材 自動扉機構 床点検口<br>乾式保護材 自閉式上吊り引戸機構 グレーチング<br>重量シャッター 軽量シャッター トップライト<br>既設合モルタル オーバーヘッドドア 屋上緑化システム<br>ルーフレン 防水剤 ポリマーセメントモルタル<br>吸水調整材 現場発泡断熱材 既設合目地材<br>可動間仕切 フリーアクセスフロア 鉄敷板ふた<br>移動間仕切 トイレブース   |
| 8           | 特別な材料の工法<br>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法によるものとする。  |
| 9           | 石綿含有建材の事前調査<br>1.1. 5.1<br>工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、改修の作業に係る全ての材料について、設計図書等の文書を確認する方法及び目視により確認する方法により石綿等の使用の有無について事前調査し、調査結果を監督職員に提出する。<br>なお、事前調査で石綿の使用の有無が明らかにならなかった場合は、分析による調査が必要になるため、監督職員と協議するものとする。<br>調査範囲(※工事範囲・図示 )<br>貸与資料(分析結果報告書 )   |
| 10          | 施工数量調査<br>1.1. 6. 2<br>調査範囲 ※外壁(庇、笠木等)、軒裏等の建物外周部及び屋内の梁、階段等の見上げ面・図示(※塗装改修の範囲内・軒裏改修の範囲外を含む全工事範囲)<br>調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視<br>調査は、建物外周部のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無及び屋内見上げ面等の浮きの位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行うものとする。<br>屋根調査は、既存の防水層、シーリング材充填部、とい、笠木等及び下地の劣化状況を確認する。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表及び写真を添えて監督職員に2部提出するものとする。  |
| 11          | 調査のための破壊部分<br>1.1. 6. 3<br>補修方法 ※図示<br>補修範囲 ※図示  |
| 12          | 技能士<br>1.1. 7. 2<br>工事種目 技能検定職種 技能検定作業<br>仮設工事 とび ・とび作業<br>防水改修工事 防水施工 ・アスファルト防水工事作業<br>・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業<br>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業<br>・合成ゴム系シート防水工事作業<br>・塩化ビニル系シート防水工事作業<br>・セメント系防水工事作業<br>・シーリング防水工事作業<br>・改質アスファルトシートトーチ工法<br>防水工事作業<br>・FRP防水工事作業<br>かわらぶき ・かわらぶき作業<br>外壁改修工事 樹脂接着剤注入施工 ・樹脂接着剤注入工事作業<br>左官 ・左官作業<br>・タイル張り<br>・タイル張り作業<br>建具改修工事 サッシ施工 ・ビル用サッシ施工作业<br>ガラス施工 ・ガラス工事作業<br>自動ドア施工 ・自動ドア施工作业<br>ガラス用フィルム施工 ・建築フィルム作業<br>内装改修工事 建築大工 ・大工工事作業<br>建築板金 ・内外装板金作業<br>内装仕上施工 ・鋼製下地工事作業<br>・プラスチック系床仕上げ工事作業<br>・カーペット系床仕上げ工事作業<br>・ボード仕上げ工事作業<br>表装 ・壁装作業<br>左官 ・左官作業<br>タイル張り ・タイル張り作業<br>塗装改修工事 塗装 ・建築塗装作業<br>耐震改修工事 鉄筋施工 ・鉄筋組立作業<br>支柱施工 ・型枠工事作業<br>コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業<br>鉄工 ・構造物鉄工作業<br>とび ・とび作業<br>環境配慮改修工事 配管 ・建築配管作業<br>路面表示施工 ・溶融ペイントハンドマーカー工事作業<br>・加熱ペイントマシンマーカー工事作業<br>造園 ・造園工事作業 |
| 13          | 化学物質の濃度測定<br>1.1. 7. 9<br>図示した室のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。<br>パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。<br>①30分間換気<br>測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。<br>②5時間閉鎖<br>①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。<br>ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。<br>③測定<br>イ ②の状態のまま測定する。<br>ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定する。<br>ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。<br>④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。<br>⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。<br>・厚生労働省の標準的方法による。   |

| 14          | 完成写真  |
|-------------|---|
| [1. 9. 1~3] | 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。<br>撮影部位及び箇所数 形式・サイズ 提出セット数 画素数及び画質 撮影者<br>外部( )箇所 カラー印刷紙 ・キャビネ判 ・L判 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの<br>内部( )箇所 ・電子データ(JPEGフルカラー圧縮率1/4程度) 任意<br>外部(2)箇所 カラー印刷紙 ・キャビネ判 ※L判 3 1280×960ピクセル以上かつ撮影カメラの設定のうち最高の画質<br>内部(2)箇所 ※電子データ(JPEGフルカラー) 3<br>撮影部位は監督職員の指示による<br>電子データは、CD-R等で提出する<br>完成図(CADデータの提出(※要・不要))<br>保全に関する資料(提出回数 ※1部・部)<br>提出書類の詳細については、別途、現場説明書による<br>提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る著作権は、発注者に委譲するものとする<br>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける<br>撤去部分<br>コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする<br>はつり工事における非破壊検査<br>※はつり工事やスリット工事を行う施工前調査において、非破壊検査が必要と考えられる場合は、監督職員との協議により、非破壊検査を実施すること。<br>※探査方法としては電磁誘導法を原則とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、監督職員との協議による。<br>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。<br>風圧力風速 V <sub>0</sub> = 32 m/s<br>地表相度区分 ・I・II・III・IV<br>積雪量 建築基準法施行令第8条第3項の規定に基づく岡山県建築基準法施行細則による数値 |
| 15          | 完成時の提出図書<br>[1. 9. 1~3]   |
| 16          | 施工図及び施工計画書  |
| 17          | 設備工事との取合い   |
| 18          | 撤去部分  |
| 19          | はつり工事における非破壊検査  |
| 20          | 適用区分  |
| 21          | 仮設工事  |
| 22          | 足場その他   |
| 23          | 既存部分の養生   |
| 24          | 仮設間仕切り  |
| 25          | 監督職員事務所   |
| 26          | 工事用水  |
| 27          | 工事用電力   |
| 28          | 防水改修工事  |
| 29          | 既存下地の処置   |
| 30          | アスファルト防水  |
| 31          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 32          | 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  |
| 33          | 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  |
| 34          | 断熱材の種類  |
| 35          | 断熱材の設置数量  |
| 36          | 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法   |
| 37          | 絶縁断熱工法の防水湿シート   |
| 38          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 39          | 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  |
| 40          | 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  |
| 41          | 平場の保護コンクリートの厚さ  |
| 42          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 43          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 44          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 45          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 46          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 47          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 48          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 49          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 50          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 51          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 52          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 53          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 54          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 55          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 56          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 57          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 58          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 59          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 60          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 61          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 62          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 63          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 64          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 65          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 66          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 67          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 68          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 69          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 70          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 71          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 72          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 73          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 74          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 75          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 76          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 77          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 78          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 79          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 80          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 81          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 82          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 83          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 84          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 85          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 86          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 87          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 88          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 89          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 90          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 91          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 92          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 93          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 94          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 95          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 96          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 97          | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 98          | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 99          | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 100         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 101         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 102         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 103         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 104         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 105         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 106         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 107         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 108         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 109         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 110         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 111         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 112         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 113         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 114         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 115         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 116         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 117         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 118         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 119         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 120         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 121         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 122         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 123         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 124         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 125         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 126         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 127         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 128         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 129         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 130         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 131         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 132         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 133         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 134         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 135         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 136         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 137         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 138         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 139         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 140         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 141         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 142         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 143         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 144         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 145         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 146         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 147         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 148         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 149         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 150         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 151         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 152         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 153         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 154         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 155         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 156         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 157         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 158         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 159         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 160         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 161         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 162         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 163         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 164         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 165         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 166         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 167         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 168         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 169         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 170         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 171         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 172         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 173         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 174         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 175         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 176         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 177         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 178         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 179         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 180         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 181         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 182         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 183         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 184         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 185         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 186         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 187         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 188         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 189         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 190         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 191         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 192         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 193         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 194         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 195         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 196         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 197         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 198         | 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 199         | 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |
| 200         | 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  |

| 5         | 改質アスファルトシート                              |
|-----------|--|
| [3. 1. 4] | 改質アスファルトシート<br>[3. 1. 4]<br>[3. 4. 2, 3] |
| 6         | 断熱材の種類                                   |
| 7         | 断熱材の設置数量                                 |
| 8         | 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法                      |
|           |  |

|    |   |        |    |      |                    |                     |
|----|---|--------|----|------|--------------------|---------------------|
| 6  | 合成高分子系<br>ルーフィングシート防水<br>[3.1.4]<br>[3.5.2~4] | 防水層の種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|    |   | 工法     | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 7  | 遮熱防水<br>[3.1.4]<br>[3.6.2~4]                  | 防水層の種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|    |   | 工法     | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 8  | ケイ酸系塗布防水<br>(9.6.1~4)<br>[9.6.1]              | 防水層の種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|    |   | 工法     | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 9  | シーリング<br>[3.1.4]<br>[3.7.2]<br>[3.7.4~7]      | 防水層の種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|    |   | 工法     | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 10 | とい<br>[3.8.2,3]                               | 防水層の種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|    |   | 工法     | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |

|       |                        |             |    |      |                    |                     |
|-------|------------------------|-------------|----|------|--------------------|---------------------|
| 11    | アルミニウム製笠木<br>[3.9.2~3] | 種類          |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                        | 工法          | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4-1-1 | 外壁改修工事(共通事項)           | 防水改修フロー及び数量 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                        | 工法          | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4-1-2 | 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁) | 防水改修フロー及び数量 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                        | 工法          | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4-1-3 | 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)     | 防水改修フロー及び数量 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                        | 工法          | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |

|       |                                    |    |    |      |                    |                     |
|-------|------------------------------------|----|----|------|--------------------|---------------------|
| 2     | 欠損部改修工法<br>[4.1.4] [4.3.9,10]      | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 3     | 浮き部改修工法<br>[4.1.4]<br>[4.3.11~16]  | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4     | 外壁接合改修工法                           | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4-1-4 | 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)                 | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 2     | ひび割れ部改修工法<br>[4.1.4]<br>[4.4.5,6]  | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 3     | 欠損部改修工法<br>[4.1.4]<br>[4.4.5,7,8]  | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4     | 浮き部改修工法<br>[4.1.4]<br>[4.4.5,9~15] | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 5     | 目地改修工法<br>[4.1.4]<br>[4.4.5,16]    | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 6     | 外壁接合改修工法                           | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |                                    | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |

|       |   |    |    |      |                    |                     |
|-------|---|----|----|------|--------------------|---------------------|
| 4-1-5 | 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)                              | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 1     | 既存塗膜等の除去、<br>下地処理及び下地<br>調整<br>[4.5.4]      | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 2     | 下地調整材<br>[4.5.2]                            | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 3     | 仕上り塗材仕上げ<br>[4.1.5]<br>[4.5.2]<br>[表4.5.1]  | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4     | マスチック塗材塗り<br>[4.1.5] [4.6.2]<br>[表4.6.1]    | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 5     | 外壁用塗膜防水材塗り<br>[4.1.5] [4.7.2~3]<br>[表4.7.1] | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 5     | 5 建築改修工事                                    | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 1     | 改修工法<br>[5.1.3]                             | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 2     | 防火戸<br>[5.1.4]                              | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 3     | 建具見本の製作<br>[5.1.5]                          | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 4     | 防犯建物部品<br>[5.1.7]                           | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 5     | アルミニウム製建具<br>[5.2.2~5]                      | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |
| 6     | 網戸等<br>[5.2.3] [5.3.3]                      | 種類 |    |      |                    | 高日射耐熱率<br>耐水率<br>備考 |
|       |   | 工法 | 種別 | 施工箇所 | 仕上り材料<br>種類<br>使用量 |                     |

|     |                 |    |      |     |         |                  |         |
|-----|-----------------|----|------|-----|---------|------------------|---------|
| 工事名 | 水産操オーバーサイダー改修工事 |    |      |     | N o.    | A-02             |         |
| 図面名 | 建築改修工事特記仕様書 2   |    |      |     | 相尺      | A1:N/S<br>A3:N/S |         |
| 建築  | 課長              | 主幹 | 課長補佐 | 副主査 | 課員      | 担当               | 令和6年12月 |
|     | 岡山市市場事業部        |    |      |     | 令和6年12月 |                  |         |
| 設備  | 課長              | 主幹 | 課長補佐 | 副主査 | 課員      | 担当               | 承認      |
|     | 株式会社「D.D」設計     |    |      |     | 承認      |                  |         |





|     |  |  |
|-----|--|--|
| ③   | セメントの種類<br>[8.2.5]   | 表8.2.3<br>セメントの種類<br>使用箇所  |
|     | ④ 骨材の種類<br>[8.2.5]   | アルカリシリカ反応性による区分<br>※A<br>・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下)   |
| ⑤   | 混和材料<br>[8.2.5]  | ・混和剤 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による<br>○混和材 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による   |
| 6   | 構造体用モルタル<br>[8.2.6]  | 圧縮強度 ( ) フロー値 ( )  |
| 7   | 無筋コンクリート<br>[6.14.1~3] [8.11.1~3]                            | 適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)による ・図示<br>設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) ※18<br>スラブ ※1又は18<br>セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント   |
| 8   | ひび割れ誘発目地<br>打継目地<br>[6.6.4] [6.8.1]                          | 目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による<br>間隔 ※図示による ・高炉セメントB種(G)<br>位置 ※図示による<br>ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する  |
| ⑨   | コンクリートの仕上り<br>[8.1.4] [8.2.7]                                | 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 表8.1.4  |
|     |  | 種類 適用箇所<br>・A種<br>○B種 オバー・スリット・改修部分<br>・C種   |
|     |  | コンクリートの仕上りの平たんさ 表8.1.5   |
|     |  | 種類 適用箇所<br>・A種<br>・B種<br>・C種   |
| ⑩   | 打増し厚さ<br>[6.8.1] [8.7.8]                                     | ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)<br>○20mm<br>・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)<br>・10mm ○20mm<br>・外装タイル後張り面の打増し処理<br>・20mm<br>・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理<br>プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う<br>・10mm ・20mm   |
| ⑪   | 型枠<br>[6.8.2] [8.2.7]  | せき板の材料及び厚さ<br>※合板 (※12mm) ※構造図による<br>・メッシュ型枠 (使用部位 ※構造図による)<br>・床型枠用鋼製デッキプレート (施工範囲 ※構造図による)<br>スリーブ材 ※標準仕様書6.8.2(9)(イ)による ・構造図による<br>断熱材用型枠 ・使用しない ・使用する (※25mm以下かつ熱抵抗値1wh/℃Ga以上)<br>MCR工法用シートの仕様 ・使用しない ・使用する (使用部位 ※図示による)                        |
| 12  | 型枠の加工及び部位<br>[8.7.8]   | シアコネクタをセパレータとして使用<br>適用箇所 ※構造図による  |
| 13  | コンクリートの<br>打込み工法等<br>[8.21.8] [8.23.5]                       | 部位毎のコンクリート打設工法の指定<br>補強工法<br>現場打ちコンクリート壁の増設工事<br>・流込み工法 (全て )<br>・圧入工法 (全て )<br>鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法<br>・流込み工法 (全て )<br>・圧入工法 (全て )   |
| 8-3 | 1 鉄骨の製作工場<br>[8.1.5]<br>[7.1.1] [7.1.3]                      | 鉄骨製作工場の加工能力<br>※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。<br>( ・Jグレード ・Rグレード ・Mグレード ・Hグレード ・Sグレード )   |
|     | 2 鉄骨製作工場における<br>施工管理技術者<br>[8.1.6]                           | ※配置する ・配置しない   |
| 3   | 鋼材<br>[8.2.8]  | 鋼材の材質 表8.2.7<br>種類の記号 適用箇所 規格等<br>※JIS規格による<br>※JIS規格による<br>※JIS規格による  |
| 4   | 高力ボルト<br>[8.2.9] [8.13.2]<br>[8.14.2]                        | 区分<br>※トルシヤ高力ボルト 2種 (S10T)<br>・JIS高力ボルト 2種 (F10T)<br>高力ボルトの径 ※図示による<br>すべり試験 ※行わない<br>・行う (すべり係数試験 ・すべり耐力試験)<br>試験方法等 ※構造図による<br>すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。  |
| 5   | 溶融亜鉛めっき高力<br>ボルト<br>[8.2.9] [8.13.2]<br>[8.20.5]<br>[7.12.5] | セットの種類<br>※1種 (F8T相当)<br>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき孔径<br>・大臣認定を受けた内容による<br>摩擦面の処理<br>※プラスト処理 (表面粗度50μmR以上)<br>・プラスト以外の特別な処理 (りん酸塩処理)<br>すべり試験 ※行わない<br>・行う (すべり係数試験 ・すべり耐力試験)<br>試験方法等 ※構造図による<br>すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 6  | 普通ボルト<br>[7.2.3]                       | ボルト及びナットの材料等 ※標準仕様書 表7.2.3による<br>座金 ※標準仕様書 表7.2.3(4)による<br>母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・図示   |
| 7  | アンカーボルト<br>[7.2.4] [7.3.2]<br>[7.10.3] | 適用<br>・構造用アンカーボルト<br>セットの種類 ・ABR400 ・ABR490<br>形状、寸法 ※構造図による<br>・建方用アンカーボルト<br>種類 ・SS400<br>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度<br>※標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による<br>・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト  |
| 8  | 溶接材料<br>[8.2.10]                       | ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による<br>・図示による   |
| 9  | ターンバックル<br>[7.2.6]                     | 種類<br>建築用ターンバックル類 ※新特種<br>建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト<br>ねじの呼び ※構造図による   |
| 10 | デッキプレート<br>[7.2.7]                     | 工法の種類<br>・合成スラブ (適用箇所 ・構造図による)<br>・床型枠用 (適用箇所 ・構造図による)<br>・  |
| 11 | スタッドボルト<br>[8.2.11]                    | ※鋼種スタッド (JIS B1198)<br>径 (呼び径) 長さ (呼び長さ) mm 適用箇所<br>16φ ・80 ・100 ・120<br>19φ ・80 ・100 ・130 ・150<br>22φ ・80 ・100 ・130 ・150  |
| 12 | 柱底均しモルタル<br>[8.2.12]                   | モルタルの種類<br>※無収縮モルタル<br>無収縮モルタルの材料及び調合<br>※改修標準仕様書 8.2.12による  |
| 13 | 製作精度<br>[8.13.3]                       | ・改修標準仕様書8.13.3及びH12建築第1464号第二号イによる<br>通しダイヤフラムの許容誤差<br>・ダイヤフラムをH12建築第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り<br>補強方法<br>・「実合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による<br>・全てのダイヤフラムはH12建築第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること  |
| 14 | 仮組<br>[8.13.10]                        | ※行わない ・行う (適用範囲 ※構造図による)   |
| 15 | 高力ボルト接合<br>[8.14.2]                    | スプライスプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする<br>フライアプレートの材質 ※SS400とする   |
| 16 | 溶接接合<br>[8.15.4] [8.15.7]              | 開先の形状 ※構造関係共通事項 4 溶接継手の種類別開先標準による ・構造図による<br>スカラップの形状 ※構造関係共通事項 6 スカラップによる ・構造図による<br>鋼製エンドタブの切断する部分<br>切断する箇所 ※構造図による<br>切断する範囲<br>・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断面が交差する場合は、交差部を7-4状に加工する<br>切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15(1)(b)(2)による ・構造図による<br>完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」<br>付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による<br>鋼製エンドタブ・裏当て金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする |
| 17 | 入熱、バスの間温度の溶<br>接条件                     | 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件<br>※構造関係共通事項による ・図示<br>適用箇所<br>※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部<br>・図示による  |
| 18 | 溶接部の試験<br>[8.15.12]                    | 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験<br>※行う ・行わない<br>工場溶接の場合 ※全数<br>工事現場溶接の場合 ※全数  |
| 19 | 耐火被覆<br>[8.18.2~8]                     | 耐火被覆の試験<br>耐火被覆の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の<br>抜き取り検査1 ※抜き取り検査2<br>耐火被覆の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の<br>抜き取り検査1 ※抜き取り検査2  |

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 20  | 建方精度<br>[7.10.2]                                       | ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」<br>付表5「工事現場」による   |
| 21  | アンカーボルトの保持<br>及び埋込み工法<br>[7.2.4] [7.10.3]              | 構造用アンカーフレームの形状及び寸法<br>※構造図による<br>建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法 表7.10.1<br>種類 ・A種 ・B種<br>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 表7.10.2<br>※標準仕様書 表7.10.2 (※A種【モルタル厚さ50】 ・B種【モルタル厚さ30】)による   |
| 22  | 錆止め塗装<br>[7.4.3]<br>[8.17.2~4]                         | 塗料の種類<br>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料<br>※改修標準仕様書 表7.4.2のA種<br>・改修標準仕様書 表7.4.2のB種<br>・E P-Gの適用箇所は改修標準仕様書 表7.4.2のC種<br>・塗装を行う耐火被覆材の接着する面への塗装<br>・行う<br>適用箇所 ※構造図による<br>塗装の種類 ※構造図による<br>※行わない   |
| 23  | 溶融亜鉛めっき工法<br>(主要構造及び構造<br>耐力上主要な部分<br>に限る)<br>[8.20.4] | 種類等 表8.20.1<br>亜鉛めっきの種類 材料 適用箇所<br>A種(HD25) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 ※図示による<br>B種(HD45) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板<br>C種(HD35) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類<br>最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板   |
| 8-4 | あと施工アンカー<br>[8.2.4]                                    | 引張耐力 ・せん断耐力 ・<br>○金属系アンカー<br>本体 接合筋<br>径 (mm) 埋込み深さ (mm) セット方式 種類 径 (mm) 長さ (mm)<br>14 40 本体打ち込み式改良型 異形 D10 300<br>※接着系アンカー<br>径 (mm) 埋込み深さ (mm) 接着剤の材質 アンカーの種類 アンカー筋の種類<br>D13 100 ※有機系・無機系 ※カプセル方式回転・打撃式 D13<br>M12 100 ※有機系・無機系 ※カプセル方式回転・打撃式 M12<br>アンカー筋の新設壁内への定着長さ ※構造図による  |
| 2   | 穿孔前の埋込配管等の<br>探査<br>[8.12.4]                           | 探査範囲 ※穿孔範囲の全て<br>探査方法<br>※鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に差し出しを行う<br>・はつり出しによる   |
| 3   | あと施工アンカーの試験<br>[8.2.4] [8.12.7]<br>[14.1.3]            | 性能確認試験 ※行わない ・行う<br>施工確認試験 ・行う ・行わない<br>確認強度 ・構造図による  |
| 4   | シアコネクタ<br>[8.7.8]                                      | ・金属拡張系アンカー 適用箇所 ※構造図による<br>・接着系アンカー 適用箇所 ※構造図による  |
| 5   | 施工管理技術者<br>[8.12.2]                                    | (一社)日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする   |
| 8-5 | 1 柱底均しモルタル<br>[8.2.12]                                 | 無収縮モルタル ・使用する ・使用しない  |
| 2   | グラウト材<br>[8.2.12]                                      | 無収縮グラウト材の材質等<br>・混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミニウム等<br>によって膨張する性質を利用するもの) とする。<br>セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または<br>早強ポルトランドセメントとする。<br>砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、<br>特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。<br>ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。   |
|     |  | 無収縮グラウト材の品質及び試験方法<br>コンステンシー Jフーロートによる落下時間<br>練混ぜ完了から3分以内の値 : 8 ± 2秒<br>ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下<br>凝結開始時間 1時間以上<br>終結時間 : 1.0時間以内<br>無収縮性 材齢 7日 収縮しない<br>圧縮強度 材齢 3日 20N/mm <sup>2</sup> 以上<br>材齢 28日 40N/mm <sup>2</sup> 以上<br>塩化物量 0.30kg/m <sup>3</sup> 以下<br>試験方法 1) NEXO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理<br>試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で水和材が同一の<br>場合の試験はプレミックス形のみとする。<br>2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の<br>塩化物イオン濃度試験方法」による。 |
| 8-6 | 連続繊維シート<br>[8.2.13] [8.24.6]<br>[8.24.7]               | 連続繊維の材料<br>・炭素繊維 ・アラミド繊維<br>連続繊維の材質<br>引張強度 (含浸硬化後) ( ) N/mm <sup>2</sup><br>ヤング係数 (含浸硬化後) ( ) N/mm <sup>2</sup><br>繊維目付量 ( ) g/m <sup>2</sup><br>シート厚さ ( ) mm<br>シート貼り方向 ※図示<br>定着方法 ※図示<br>含浸接着剤 低臭型<br>プライマー 低臭型<br>下地処理<br>仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない<br>下地処理の程度 ※図示<br>下地処理の範囲 ※図示<br>柱及び梁の隅角部の面取り 大きさ ※図示<br>下地調整 ※行う   |

|          |   |   |   |
|----------|---|---|---|
| 8-7      | 1 耐震スリットの方式、<br>幅及び深さ<br>[8.25.2]               | ・完全 ・部分<br>設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による<br>スリットの幅及び深さ ※構造図による   |   |
|          | 2 耐震スリットの施工前<br>の埋込み配管等の探査<br>[8.12.4] [8.25.2] | 既存除去部の配管等の探査<br>※鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に差し出しを行う<br>・はつりだしによる  |   |
| 3        | 耐震スリット充填材の<br>挿入及び周囲補修等<br>[8.25.2]             | ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による<br>・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による<br>・撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による   |   |
| 9        | 1 石綿含有建材の除去工事<br>[9.1.1] [9.1.3~6]              | 調査<br>※石綿含有建材の事前調査<br>1章5による<br>・分析による石綿含有建材の調査 (施工調査)<br>分析対象<br>アクチノライト、アモサイト、 アンソフィライト、クリソチライト、クロシドライト、<br>トレモライト<br>分析方法については、監督機関に報告すること<br>材料名 定性分析 定量分析<br>JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4<br>箇所 箇所<br>箇所 箇所<br>箇所 箇所<br>材料が仕上り材の場合は、層ごとの分析を行うこと<br>サンプル数 1箇所あたり3サンプル<br>採取箇所 ・図示<br>・石綿粉塵濃度測定<br>測定時期、場所及び測定点<br>適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工場所ごと)<br>・測定1 処理作業前 調査作業室内 計 点<br>測定2 調査対象室外部の付近 計 点<br>・測定3 処理作業中 処理作業室内 計 点<br>※測定4 セキュリティゾーン入口 計 点<br>※測定5 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/s以下の位置 計 点<br>※測定6 処理作業室外 計 点<br>※測定7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 計 点<br>・測定8 処理作業後 処理作業室内 計 点<br>・測定9 シート撤去後 調査対象室外部の付近 計 点<br>測定方法<br>・自動測定器による測定<br>測定名称 測定方法<br>・測定4 ・測定5 検じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、<br>・測定 ( ) 繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉<br>じんを迅速に測定できる機器を用いた測定<br>・JIS K 3850-1に基づいた測定<br>測定 ( ) ・測定 ( ) ・測定 ( )<br>メンブレンフィルタ直径 (mm) 2.5 4.7 4.7<br>試料の吸引流量 (l/min) ・5 ・1.0 ・1.0<br>試料の吸引時間 (min) ・3.0 ・1.20 ・1.20 |   |
|          |   | 石綿含有建材の処理<br>・石綿含有吹付け材の除去<br>除去対象範囲 ※図示<br>除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(ア)による<br>除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化<br>除去した石綿含有吹付け材等の処分<br>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)<br>・石綿含有保温材等の除去<br>除去対象範囲 ※図示<br>除去工法 ※原形のままほらし ・破砕して除去<br>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化<br>除去した石綿含有保温材の処分<br>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)<br>・石綿含有成形板等 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外) の除去<br>除去工法 ※切断・破砕等以外 (ボルトや釘等を撤去し、手作業で取り外す等)<br>除去対象範囲 ※図示<br>除去した石綿含有成形板の処分<br>・石綿含有せつこうボード<br>・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)<br>・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板<br>・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)  |   |
| 工事名      | 水産棟オーバーサイダー改修工事                                 | N o.  | A-05  |
| 図面名      | 建築改修工事特記仕様書5                                    | 相 尺   | A1:N/S<br>A3:N/S  |
| 岡山市市場事業部 |   | 令和6年12月   |   |
| 建築       | 課長 主幹 課長補佐 副主査 課員 担当                            | 設計者   | 株式会社 U. D. D 設計<br>株式会社 U. D. D 設計<br>〒750-0001 岡山県岡山市東区下島3-1-10<br>TEL 086-278-1100 FAX 086-278-1100<br>一級建築士事務所登録 岡第12147号<br>第348883号<br>一級建築士 海野 雅之 |
| 設備       | 課長 主幹 課長補佐 副主査 課員 担当                            | 承認  | 検印 製図   |



・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去  
除去対象範囲 ※図示  
除去方法 ※手作業で取外し ・切断・破砕等  
切断・破砕等する場合 作業場所を隔離し、湿潤状態を保ちながら作業すること。（作業場所の隔離は、負担に保つ必要はない。）  
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分  
・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
処分施設の名称（ ）  
所在地（ ）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去  
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による  
除去方法  
※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を得る措置とされる工法  
・集じん装置併用手工具ケレン工法  
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）  
・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）  
・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）  
・剥離剤併用手工具ケレン工法  
・剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）  
・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）  
・剥離剤併用超音波ケレン工法  
・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法

作業場所の隔離 ※行わない ・行う  
試験施工 ※行わない ・行う  
除去した石綿含有仕上塗材の処分  
・埋立処分（安定型最終処分場） ・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分  
※改修標準仕様書9.1.3(3)による  
確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(ア)、(イ)、(ウ)及び(エ)による

石綿含有塗材除去後の仕上げ工事 ※図示

断熱・防露改修工事材  
[9.3.2~4]

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用するものとする  
断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆  
・断熱材(①)の打込み工法

| 種類                        | 厚さ (mm) | 施工箇所 |
|---------------------------|---------|------|
| ・ビーズ法                     | ・25     |      |
| ポリスチレンフォーム断熱材             |         |      |
| ・押出法                      | ・2種 bA  | ・25  |
| ポリスチレンフォーム断熱材<br>(スキン層なし) | ・3種 bA  | ・25  |
| ・硬質ウレタンフォーム断熱材            | ・25     | ・土間下 |
| ・フェノールフォーム断熱材             | ・25     |      |

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による  
・断熱材現場発泡工法  
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H  
厚さ (mm) ・25 ・30  
施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所  
・図示

植栽基盤及び材料  
・屋上緑化軽量システム(①)  
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示  
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※図示

工法  
1章 20 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
支柱 ・設置する(種類・図示)  
かん水装置 ・設置する(工事区分は図示による)  
既存保護層の撤去 ・行う  
新植芝及び地被類の枯補償  
枯補償の期間 ※引渡しの日から1年  
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のものを再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

1 フリーアクセスフロア  
[20.2.2]

| 施工箇所  |  |                              |
|---|--|------------------------------|
| 構造  | 壁敷式  | 支柱調整式                        |
| 耐震性能  | ・1.0G ・0.6G  | ・1.0G ・0.6G                  |
| 所定荷重  | ※3000N ・5000N  | ※3000N ・5000N                |
| パネル寸法 (mm)  | ・  | ・                            |
| 高さ (mm)   | ・  | ・                            |
| 床表面仕上げ材の材質  | ※タイルカーペット(①)<br>・帯電防止床タイル(①)                                 | ※タイルカーペット(①)<br>・帯電防止床タイル(①) |
| ポーダー及びスロープ  | ※製造所の仕様・図示による  | ※製造所の仕様・図示による                |
| 寸法精度  | ※標準仕様書20.2.2(2)(イ)による  |                              |
| 表面仕上材の品質・性能は、改修標準仕様書6章 内装改修工事による<br>配線用取り出しパネル<br>フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※製造所の仕様による ・20～30%<br>配線取り出し開口 ※製造所の仕様による ・パネル1枚につき40mm x 80mm程度の開口1ヶ所以上<br>空調用吹き出し(吸い込み)パネル |  |                              |
| 耐衝撃性能   | 変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下  |                              |
| 耐衝撃性能   | 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと   |                              |
| ローリングロード性能  | 所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は、1,000N以上で任意) による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 |                              |

2 トイレブース  
[20.2.5]

表面材 ※メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板  
ドアエッジ材形状 ※アルミRエッジ  
幅木材質形状 ※ステンレス幅木

3 手すり  
[20.2.6]

| 材質        | 表面仕上げ      | 直径 (mm)     | 取付箇所 |
|-----------|------------|-------------|------|
| ・集成材      | ・CL        | ・60 ・45 ・40 | ・    |
| ・ステンレスパイプ | ・HL        | ・60 ・45 ・40 | ・    |
| ・鋼製パイプ    | ・EP-G ・SOP | ・60 ・45 ・40 | ・    |
| ・ビニル製     |            |             |      |

4 階段止め  
[20.2.7]

材質 ステンレス製 (SUS304) (・埋込工法 ※接着工法)  
端部フラットエンド ※有 (※タイヤと同材 ・ステンレス鋼) ・無  
型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り  
幅 (mm) ※約35

5 表示  
[20.2.11]

・案内板 ・施設案内板 (※標準詳細図による ・図示による)  
・各階案内板 (※標準詳細図による ・図示による)  
・視覚障害者案内案内板 (※図示による)  
・室名札 ※標準詳細図による ・市販品  
・ピクトグラフ 標準案内図用記号 ※JIS Z 8210による ・図示による  
形状・その他 ※図示による  
・施設文字 ※標準詳細図による  
・切抜文字 (・ステンレス製・黄銅製) ・箱文字 (・ステンレス製・黄銅製)  
字数 ( ) 文字の大きさ ( x )  
・対人衝突防止表示 ・図示による  
・非常用出入口 ・図示による  
案内図用記号はJIS Z 8210による

6 ブラインド(⑥)  
[20.2.14]

| 形式          | ・機型ブラインド              | ・縦型ブラインド               |
|-------------|-----------------------|------------------------|
| スラットの材質     | アルミニウム合金製             | アルミスラット ・クロススラット       |
| 種類          | ※ギア式<br>・コード式<br>・操作式 | ・1本操作コード式<br>※2本操作コード式 |
| スラットの幅 (mm) | ※25 ・35               | ・80 ・100               |
| ボックス・レールの材質 | ※鋼製                   | アルミニウム合金製              |
| 幅・高さ・取付箇所   | ※図示                   | ※図示                    |

7 ロールスクリーン  
[20.2.15]

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 (チェーン式) ・電動式  
材質 ・図示による  
透光性能 ・図示による  
寸法及び取付箇所 ・図示による

8 カーテン及びカーテンレール  
[20.2.16]

| 取付箇所 | 生地の種類、品質、特殊加工等 | ひだの種類 | 形式   | 開閉操作              |
|------|----------------|-------|--|-------------------|
|      |                |       | ・シングル ・片引き<br>・ダブル ・引分<br>・シングル ・片引き<br>・ダブル ・引分 | ※手引き ・ひも引き<br>・電動 |

カーテンレール及び付属金物

| 施工箇所 | 強さによる区分          | 材料による区分                          | 仕上げ       | 形状       | 取り付け付属金物 |
|------|------------------|----------------------------------|-----------|----------|----------|
|      | ・10-60<br>※10-90 | ※7&1/2インチ及び7&1/4インチ合金の<br>押出し成型材 | ※7&1/2インチ | ・角形<br>・ |          |

・網幕用は300mm以上の引合せの重掛けとする

9 点検口

天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450 x 450 ・600 x 600  
形式 ・板型 外枠 ・額縁タイプ ・目地タイプ  
内枠 ・額縁タイプ ・目地タイプ  
枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内  
材料の品質及び性能  
外枠、内枠の材質  
アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5  
表面処理 表14.2.1のAC-1種、AC-2種 (外部はBB-1種、BB-2種)  
外枠及び内枠のコーナースタック、吊り金物、取付ボルト  
鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの  
床 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ・450 x 450 ※600 x 600  
形式 ※屋内用一般型 ・密閉形  
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したものの  
枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内  
材料の品質及び性能  
受枠材、蓋枠材、コーナースタック、底板材、底板補強材  
アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5  
表面処理 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種  
開閉方式 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式  
その他 製造所の仕様による

10 天井見切り縁等

壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁 (天井見切縁、下がり壁見切縁) の材質  
※アルミニウム既製品 ・ビニル既製品

11 視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック)  
[11.2.2] [19.2.2]

材質 ・レジンコンクリート製 (厚さ60mm) ・セラミックタイル製 ・塩ビ製板  
表面形状 JIS T9251による  
寸法 ※300 x 300  
色 ※黄色 ・灰色 (既共存わせ)

12 埋戻し及び盛土  
[3.2.3]

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (表3.2.1)  
・建設汚泥から再生した処理土  
D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固着剤を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。

13 建設発生土の処理  
[3.2.5]

※横外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に敷き出し ・構内指示の場所に堆積

14 砂利地業  
[4.6.2] [4.6.3]

材料 ※再生クラッシュラン(①) ・切込砂利及び切込砕石  
厚さ及び使用範囲

| 厚さ       | 使用範囲   |
|----------|--------|
| ※60 ○150 | ○図示による |

15 捨コンクリート地業  
[4.6.4]

コンクリートの種類 ※普通コンクリート  
設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> ・ N/mm<sup>2</sup>  
スラブ ※15cm ・18cm  
厚さ及び使用範囲

| 厚さ  | 使用範囲   |
|-----|--------|
| ※50 | ・図示による |

16 床下防湿層  
[4.6.5]

施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く)  
防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上  
防湿層の位置 ※図示による

17 排水管  
[21.2.1]

・遠心力鉄筋コンクリート  
種類 ※外圧管1種B形  
継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合  
・硬質ポリ塩化ビニル管  
・VP ・VU ・RS-VU(①)  
建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること

18 側溝、排水枡等  
[21.2.2]

・鑄鉄製ふた ・ステンレス製ふた  
型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型  
適用荷重 (安全荷重 (kN))  
屋内用 ・T-2用 (5) ・  
屋外用 ・T-2用 (5) ※T-6用 (15) ・T-20用 (50) ・  
鍵 ・有 ・無  
・グレーチング

| 種類      | 形式                 | 用途         | 適用荷重   | メインバーピッチ | 上面形状 |
|---------|--------------------|------------|--------|----------|------|
| ・鋼製     | ・受枠付<br>・ボルト<br>固定 | ・溝ふた (横断用) | ・多行用   | ・普通目 ・細目 | ※凹凸形 |
|         |                    | ・溝ふた (側溝用) | ・T-2用  | ・普通目 ・細目 |      |
|         |                    | ・柵ふた用      | ・T-6用  | ・普通目 ・細目 |      |
|         |                    | ・U字溝用      | ・T-14用 | ・普通目 ・細目 |      |
| ・ステンレス製 | ・受枠付<br>・ボルト<br>固定 | ・溝ふた (横断用) | ・多行用   | ・普通目 ・細目 | ・凹凸形 |
|         |                    | ・溝ふた (側溝用) | ・T-2用  | ・普通目 ・細目 | ・平形  |
|         |                    | ・柵ふた用      | ・T-6用  | ・普通目 ・細目 |      |
|         |                    | ・U字溝用      | ・T-14用 | ・普通目 ・細目 |      |

19 路床  
[22.2.2~5]

路床の構成 ※標準詳細図による  
盛土に用いる材料 (表3.2.1) による  
・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土  
支持力比 (CBR) 試験 ※行わない ・行う (※乱した土 ・乱さない土)  
締固め度の試験 ※行わない ・行う  
現場CBR試験 ※行わない ・行う

20 路盤  
[22.3.2~5]

路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による  
路盤材料 ※再生材クラッシュラン(①) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ(①)  
締固め度試験 ※行わない ・行う

21 アスファルト舗装  
[22.4.2~6]

舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による  
アスファルト ※再生アスファルト(①) ・ストレートアスファルト  
骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(①)  
加熱アスファルト混合物等の種類  
※表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13)  
・細粒度アスファルト混合物 (13)  
・基層 ・粗粒度アスファルト混合物 (20)  
シールコート ※行わない ・行う  
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

22 植栽地の確認  
[23.1.3]

土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ※行わない  
電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ※行わない

23 植栽基盤の整備  
[23.2.2~4]

排水 ・設置する (・暗きよ ・閉きよ ・排水層 ・縦穴排水) ・設置しない  
電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ※行わない  
整備工法 表23.2.2  
樹木 ・行う (※A種 ・B種 ・C種 ・D種) ※行わない  
芝及び地被類 ※行う (※B種) ・行わない  
植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・寄土

24 支柱材  
[23.3.2]

※丸太 (間伐材) ・真竹

25 新植樹木の枯補償  
[23.3.4]

枯補償の期間 ※引渡の日から1年  
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のものを再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

26 移植樹木の枯補償  
[23.3.6]

枯補償の期間 ※引渡の日から1年  
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のものを再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

|      |                  |    |      |         |                  |    |   |
|------|------------------|----|------|---------|------------------|----|---|
| 工事名  | 水産棟オーバースライダー改修工事 |    |      | No.     | A-06             |    |   |
| 図面名  | 建築改修工事特記仕様書 6    |    |      | 縮尺      | A1:N/S<br>A3:N/S |    |   |
| 建築設備 | 岡山市市場事業部         |    |      | 令和6年12月 |                  |    | 株式会社 U・D・D 設計<br>株式会社 ユー・ディー・ディ<br>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1<br>TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112<br>一級建築士事務所登録 岡第 2147号<br>登録建築士 海野 雅之 |
|      | 課長               | 主幹 | 課長補佐 | 副主幹     | 課員               | 担当 |   |
|      | 課長               | 主幹 | 課長補佐 | 副主幹     | 課員               | 担当 | 承認  |
|      |                  |    |      |         |                  |    | 検印  |

岡山市建築解体工事特記仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 岡山市南区市場1丁目1番地
2. 敷地面積 159,004.00 m<sup>2</sup>
3. 工事種目

Table with 3 columns: 様名等, 構造・規模等, 概要. Row 1: 水産卸売場, 鉄骨造 3階建て 17,280.02 m<sup>2</sup>

- 4. 工事内容
1. 上記3. 工事種目の建築物等の取りこわしを行う
2. 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う

II. 建築工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)...
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) G印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品等を示す。
(4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。
(5) 特記事項に記載の( )内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。
(6) 特記事項に記載の< >内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。
(7) 「監督職員」は「監督員」と読み替える。

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 8 関係法令等の遵守, 9 施工数量調査, 10 技能士, 11 完成時の提出図書, 2 騒音・粉塵等の対策, 3 監督職員事務所, 4 工事用水, 5 工事用電力

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 1 事前措置, 2 基礎等, 3 杭の解体, 4 さく、照明設備等, 5 構内舗装、樹木等, 6 地下埋設物・埋設配管, 7 整地・埋戻し及び盛土

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 8 建設発生土の処理, 9 建築設備, 4 建設廃棄物の処理, 5 特別管理産業廃棄物, 3 PCB含有機器類, 4 PCB含有シーリング材

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 1 分析調査, 2 特別管理産業廃棄物, 3 PCB含有機器類, 4 PCB含有シーリング材

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 6 廃油, 6 廃酸・廃アルカリ, 7 ダイオキシン類

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 1 適用範囲, 2 調査, 3 石綿粉じん濃度測定

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 測定時期、場所及び測定点, 測定方法, 測定名称, 測定方法

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 4 石綿含有吹付け材の除去, 5 石綿含有保温材等の除去, 6 石綿含有成形板の除去

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 4 石綿含有吹付け材の除去, 5 石綿含有保温材等の除去, 6 石綿含有成形板の除去

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 7 石綿含有仕上塗材の除去, 8 石綿含有成形板(下地調整材)の除去

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 7 石綿含有仕上塗材の除去, 8 石綿含有成形板(下地調整材)の除去

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 6 フロン, 2 特定化学物質等

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 1 砂利地業, 2 捨コンクリート地業

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 3 路床, 4 路盤

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 4 路盤

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 5 アスファルト舗装

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: アスファルト, 加熱アスファルト混合物等の種類

Table with 2 columns: 項目, 仕様. Rows include: 工事名, 図面名, 岡山市市場事業部





位置図(広域) S=1/10,000



付近見取図 S=1/2,500

## 工事概要

【工事場所】 岡山県岡山市南区市場一丁目1番地

【工事種別】 新築, 増築, 改築, 移転, 大規模の修繕, 大規模の模様替, その他(改修)

【主要用途】 (用途の区分 08610 ) 卸売市場

(消防法令による防火対象物の用途区分) 別表第15項

【都市計画区域】 内 : [ 市街化区域, 市街化調整区域, 指定なし ]

外

【用途地域】 第一種低層住居専用地域, 第二種中高層住居専用地域, 第三種住居地域, 準住居地域,

近隣商業地域, 商業地域, 準工業地域, 工業地域, 工業専用地域, 指定なし

【防火指定】 防火地域, 準防火地域, 法22条地域, 指定なし

【面積規制】 法定許容建ぺい率 80%

指定建ぺい率 80% 法53条3項の適用 [ 有 (10%, 20%) , 無 ]

法定許容容積率 400%

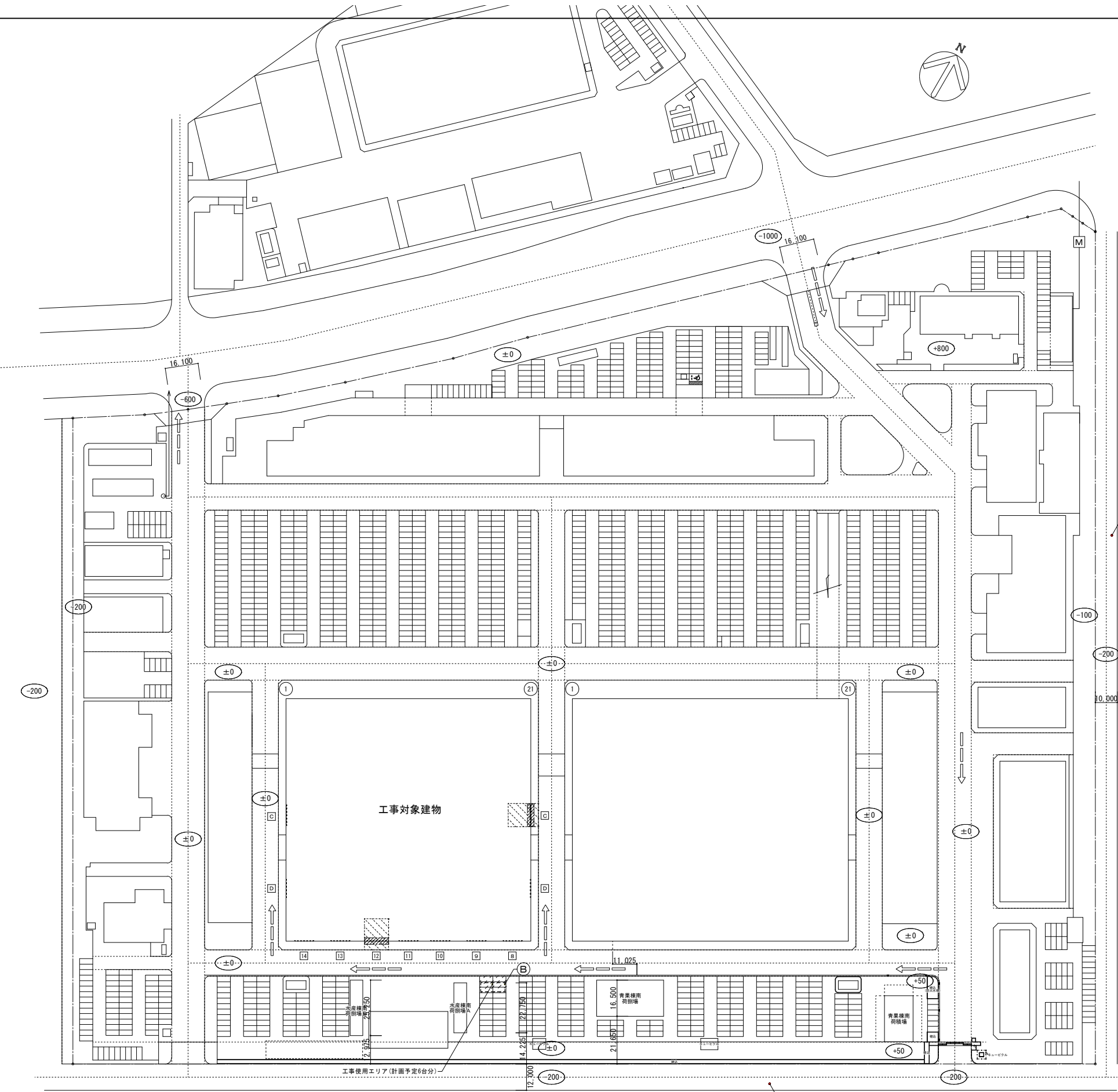
指定容積率 400%, 特定道路からの距離 m, 前面道路に対する乗数 6/10

【敷地面積】 [敷地全体] 159,004.00 m<sup>2</sup> ( 48,098.71 坪)

| 【主要面積】     | [建築基準法上の面積]         | (改修部分) | (既存建物部分)                 | (合計)                     |                                       |
|------------|---------------------|--------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| [建築面積]     | m <sup>2</sup>      |        | 59,567.63 m <sup>2</sup> | 59,567.63 m <sup>2</sup> | (建ぺい率) 37.47%                         |
| [延床面積]     | m <sup>2</sup>      |        | 72,784.75 m <sup>2</sup> | 72,784.75 m <sup>2</sup> | (容積率) 42.81%                          |
| [自動車庫等の面積] | 0.00 m <sup>2</sup> |        | 4,725.00 m <sup>2</sup>  | 4,725.00 m <sup>2</sup>  | 容積率算定延床面積<br>68,059.75 m <sup>2</sup> |

|           |                          |                     |  |  |      |
|-----------|--------------------------|---------------------|--|--|------|
| 【建物番号】    | 卸売場②-1                   |                     |  |  | (合計) |
| 【建物名称】    | 水産卸売場                    |                     |  |  |      |
| 【用途の区分記号】 | ( 08610 )                |                     |  |  |      |
| 【構造種別】    | 鉄骨造                      |                     |  |  |      |
| 【最高の高さ】   | ( ) は平均地盤面からの高さ          | 12.00 m<br>(12.00m) |  |  |      |
| 【最高の軒の高さ】 | ( ) は平均地盤面からの高さ          | 11.10 m<br>(11.10m) |  |  |      |
| 【建築面積】    | 14,333.02 m <sup>2</sup> |                     |  |  |      |
| 【床面積】     |                          |                     |  |  |      |
| (階)       |                          |                     |  |  |      |
| (階)       |                          |                     |  |  |      |
| (3階)      | 2,509.36 m <sup>2</sup>  |                     |  |  |      |
| (2階)      | 1,598.36 m <sup>2</sup>  |                     |  |  |      |
| (1階)      | 17,280.02 m <sup>2</sup> |                     |  |  |      |
| (合計)      | 17,280.02 m <sup>2</sup> |                     |  |  |      |

| 工事名 |    | 水産棟オーバースライダー改修工事 |      |         |                                      | No.  |  |
|-----|----|------------------|------|---------|--------------------------------------|------|--|
| 図面名 |    | 位置図・付近見取図・概要     |      | 縮尺      | A1:1/10000, 2500<br>A3:1/20000, 5000 | A-08 |  |
|     |    | 岡山市市場事業部         |      | 令和6年12月 |                                      |      |  |
| 建築  | 課長 | 主幹               | 課長補佐 | 副主査     | 課員                                   | 担当   |  |
|     |    |                  |      |         |                                      |      |  |
| 設備  | 課長 | 主幹               | 課長補佐 | 副主査     | 課員                                   | 担当   |  |
|     |    |                  |      |         |                                      |      |  |



- 特記事項
1. 施設を使用しながらの工事となりますので、工事工程（特に騒音・粉塵の発生する作業）は監督員と十分打合せを行い、事前の了解を得た後施工すること。利用者・職員の安全対策を図るため、工事着手前に安全施工計画書を提出すること。
  2. 工事作業スペース（資材置き場・工事車両駐留場）は、カラーコーン・仮囲い等を設け他の部分との区分を明確にすること。本図面はあくまで参考図とし、上記範囲については仮設計画書を作成し監督員の了解を得ること。
  3. 本工事の工事工程表作成については、工事着手前に施設関係者及び監督員と十分協議し、施設側の関係工事等の主権を十分考慮した工程表を作成・承諾の上で施工を行うこと。
  4. 工事車両（工事関係者）と施設関係者及び利用者等の動線との交差部は、適宜交通整理員を配置する等安全対策を講じること。
  5. 工事範囲外に損傷を与えた場合は、監督員に報告するとともに、受注者の責任において現状復旧をすること。
  6. 一部コンクリートの解体に際しては、ハンドブレイカー・手はつりを併用して行うが、解体部以外の躯体に損傷を与えないように十分注意して施工すること。また、騒音の大きい作業等については、施設行事等との調整を行うこと。
  7. 本工事と平行して行われる他の工事との調整は監督員の指示による。
  8. 解体に際しては、事前に現地調査を行い、電気配線、給排水配管、ガス配管等の端末処理を行い、安全確認後施工すること。
  9. 発生材については、廃棄物処理法に基づき全て場外処分とする。また、産業廃棄物マニフェストを提出すること。
  10. 図面書込寸法については、参考寸法であり施工に当たっては、現場寸法を実測調査すること。
  11. 既存部の改修に当たり、図面と異なる状況が確認された場合は、監督員に報告しその指示に従うこと。
  12. 工事期間中に工事使用エリア内に駐車出来ない工事関係者の車輛は、受注者の責任に於いて確保することとする。

- ◆ 凡例
- 符号 ○ オーバースライダーの番号を示す
  - 斜線 改修部分を示す
  - 点線 工事範囲を示す
  - 点線 工事使用エリア（工事車両・資材置場）
  - 工事車両動線
  - ⓑ ----- 仮囲い：コーンバリケード（資材置場用）

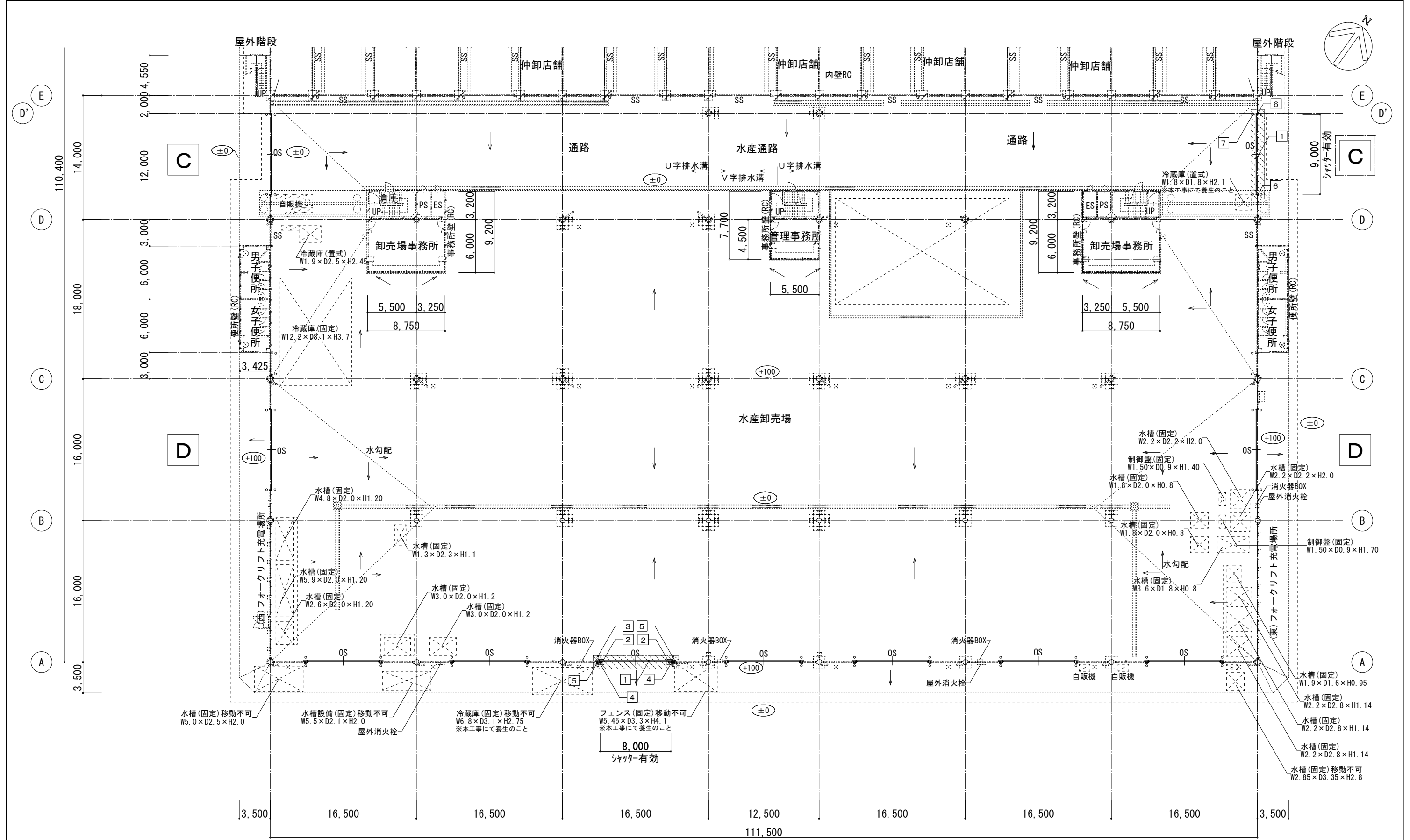
配置図 S=1/1,000

|     |                  |    |      |     |    |     |  |    |
|-----|------------------|----|------|-----|----|-----|--|----|
| 工事名 | 水産様オーバースライダー改修工事 |    |      |     |    | No. | A-09   |    |
| 図面名 | 配置図              |    |      |     |    | 縮尺  | A1:1/1,000<br>A3:1/2,000   |    |
| 建築  | 岡山市市場事業部         |    |      |     |    | 担当者 | 令和6年12月  |    |
| 設備  | 課長               | 主幹 | 課長補佐 | 副主査 | 課員 | 担当者 | 株式会社 U. D. D 設計<br>岡山県岡山市東区一丁目3番15号<br>TEL:086-822-2288 FAX:086-822-2282<br>一級建築士事務所登録 岡第12147号<br>一級建築士 海野 雅之 |    |
|     | 課長               | 主幹 | 課長補佐 | 副主査 | 課員 | 担当者 | 承認   | 検印 |

外部・内部仕上表

| 部 位    |   | 既 存 仕 上                             | 撤 去 処 分  | 改 修 仕 上  | 備 考  |  |
|--------|---|-------------------------------------|--|--|--|--|
| 水産卸売場  | 東面  | 外装                                  | カラー被覆鋼板 t=0.8, 下地補強材: FB-6×50 @≒333                      | 現状のまま(改修対象外)   | 現状のまま  | 既存鉄部: 下地調整の上、サビ止め塗り (E種) (JASS 18 M-109)         |
|        |   |                                     | 鉄骨間柱: オーバースライダーレール取付用鉄骨下地, マグサ GP塗装                      | 既存鉄部: 下地調整 (RB種)   | 鉄部: DP塗り   |  |
|        |   | シャッター                               | アルミ製オーバースライダー (W9,000×H5,000)                            | オーバースライダー撤去・処分 (レール・金物類共)  | アルミ製オーバースライダー (W9,000×H5,000), レール・金物共新設   |  |
|        |   | 床面                                  | 土間コンクリート T=150, 配筋: D10 @250(シングルクロス)                    | 現状のまま(改修対象外)   | 現状のまま, 既存外部巾木: 樹脂モルタル左官補修 (両側L500程度)   |  |
|        |   | 天井面                                 | ALC板素地現し, 鉄骨梁 (耐火被覆) 現し                                  | 現状のまま(改修対象外), オーバースライダー金物類(既存利用)   | 現状のまま, オーバースライダー金物類現状のまま   |  |
|        | 南面  | 外装                                  | カラー被覆鋼板 t=0.8, 下地補強材: FB-6×50 @≒333                      | 現状のまま(改修対象外)   | 現状のまま  | 既存鉄部: 下地調整の上、サビ止め塗り (E種) (JASS 18 M-109)         |
|        |   |                                     | 鉄骨間柱: オーバースライダーレール取付用鉄骨下地, マグサ GP塗装                      | 既存鉄部: 下地調整 (RB種), サビ腐食部分除去 (サンダー掛け, FL+1,000程度)  | 既存鉄骨間柱: 既存DP塗り, 柱脚部根巻: コンクリート化粧型枠打放し補修 (B種) H300<br>オーバースライダー取付用鉄骨間柱新設, DP塗り, 外装: 着色ガルバ鋼板, t=0.8曲げ加工張り |  |
|        |   | シャッター                               | アルミ製オーバースライダー (W8,500×H5,000)                            | オーバースライダー撤去・処分 (レール・金物類共)  | アルミ製オーバースライダー (W8,000×H5,000), レール・金物共新設   |  |
|        |   | 床面                                  | 土間コンクリート T=150, 配筋: D10 @250(シングルクロス)                    | オーバースライダー取付用間柱建込み部分土間撤去・処分   | 土間復旧: コンクリート金コテ押え, 既存外部巾木: 樹脂モルタル左官補修 (両側L500程度)   | 新設鉄骨間柱基礎増し打ち: D13@150カゴ配筋, 樹脂系あと施工アンカー-D13@150打ち |
|        |   | 天井面                                 | ALC板素地現し, 鉄骨梁 (耐火被覆) 現し                                  | 現状のまま(改修対象外), オーバースライダー金物類撤去・処分  | 現状のまま, オーバースライダー金物類新設  |  |
| ガードポスト | 鋼管φ216×H1,000 SOP塗装, コンクリート充填, 配筋: 主筋8-D13 フープD10@150 | 既存部分: 下地調整 (RB種)                    | 鉄部: DP塗り, 天端 (コンクリート部): EP-G塗り                           | 既存鉄部: 下地調整の上、サビ止め塗り (E種) (JASS 18 M-109)   |  |  |
| 12     | 外装  | カラー被覆鋼板 t=0.8, 下地補強材: FB-6×50 @≒333 | 現状のまま(改修対象外)   | 現状のまま  | 既存鉄部: 下地調整の上、サビ止め塗り (E種) (JASS 18 M-109)   |  |
|        |   | 鉄骨間柱: オーバースライダーレール取付用鉄骨下地, マグサ GP塗装 | 既存鉄部: 下地調整 (RB種), サビ腐食部分除去 (サンダー掛け, FL+1,000程度)          | 既存鉄骨間柱: 既存DP塗り, 柱脚部根巻: コンクリート化粧型枠打放し補修 (B種) H300<br>オーバースライダー取付用鉄骨間柱新設, DP塗り, 外装: 着色ガルバ鋼板, t=0.8曲げ加工張り |  |  |
|        | シャッター   | アルミ製オーバースライダー (W8,500×H5,000)       | オーバースライダー撤去・処分 (レール・金物類共)                                | アルミ製オーバースライダー (W8,000×H5,000), レール・金物共新設   |  |  |
| 床面     | 土間コンクリート T=150, 配筋: D10 @250(シングルクロス)                 | オーバースライダー取付用間柱建込み部分土間撤去・処分          | 土間復旧: コンクリート金コテ押え, 既存外部巾木: 樹脂モルタル左官補修 (両側L500程度)         | 新設鉄骨間柱基礎増し打ち: D13@150カゴ配筋, 樹脂系あと施工アンカー-D13@150打ち   |  |  |
| 天井面    | ALC板素地現し, 鉄骨梁 (耐火被覆) 現し                               | 現状のまま(改修対象外), オーバースライダー金物類撤去・処分     | 現状のまま, オーバースライダー金物類新設                                    |  |  |  |
| ガードポスト | 鋼管φ216×H1,000 SOP塗装, コンクリート充填, 配筋: 主筋8-D13 フープD10@150 | 土間床面から上部、撤去処分                       | 鋼管 (STK400) φ216.3×H850, ベースプレート, あと施工アンカー固定, 焼付塗装 (黄・黒) | 既製品国内メーカー同等品, ガードポスト床面取合い左官補修  |  |  |

|                   |   |                       |   |          |                  |      |         |  |      |                  |
|-------------------|---|-----------------------|---|----------|------------------|------|---------|--|------|------------------|
| 特 記               | 使用材料は特記なき限り全てF☆☆☆☆以上を使用すること。                      | 法37条に適合する建築材料を使用すること。 | SOP: 合成樹脂調合ペイント塗り<br>FE: フタル酸樹脂エナメル塗り<br>DP: 耐候性塗料塗り<br>EP-G: つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り<br>EP: 合成樹脂エマルジョンペイント塗り<br>UC: ウレタン樹脂ワニス塗り<br>吹付けタイル: 複層塗材RE<br>PB: 石こうボード<br>シート防水: 合成高分子ルーフィング防水 | 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |      |         | No.  | A-10 |                  |
|                   | 既存躯体から設備図に特記の無い設備配線・配管等が出てきた場合は監理者と協議の上適切に処置すること。 |                       |   | 図面名      | 内部・外部仕上表 (撤去・改修) |      | 縮尺      |  |      | A1:N/S<br>A3:N/S |
|                   | 撤去時において欠損、ひび割れが生じた場合は補修を行うこと。                     |                       |   | 岡山市市場事業部 |                  |      | 令和6年12月 | 株式会社 U・D・D 設計<br>株式会社ユー・ディ・ディ設計<br>〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1<br>一級建築士事務所登録 岡第12147号<br>一級建築士 湯野 雅之 |      |                  |
|                   | 改修に伴う新設躯体等の取り合いは、既設仕上材(モルタル、プラスタ等)撤去の上、目荒しを行う。    |                       |   | 課長       | 主幹               | 課長補佐 | 副主査     |  | 課員   | 担当               |
|                   | 改修に伴う、新設コンクリート表面の仕上がりはB種とする。                      |                       |   | 課長       | 主幹               | 課長補佐 | 副主査     |  | 課員   | 担当               |
|                   | 法28条の2 二号: 石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しないこと。             |                       |   | 承認       |                  |      | 確認      | 製図   |      |                  |
| 躯体撤去部分はカッター入れのこと。 |   |                       |   |          |                  |      |         |  |      |                  |



\* 改修工事リスト

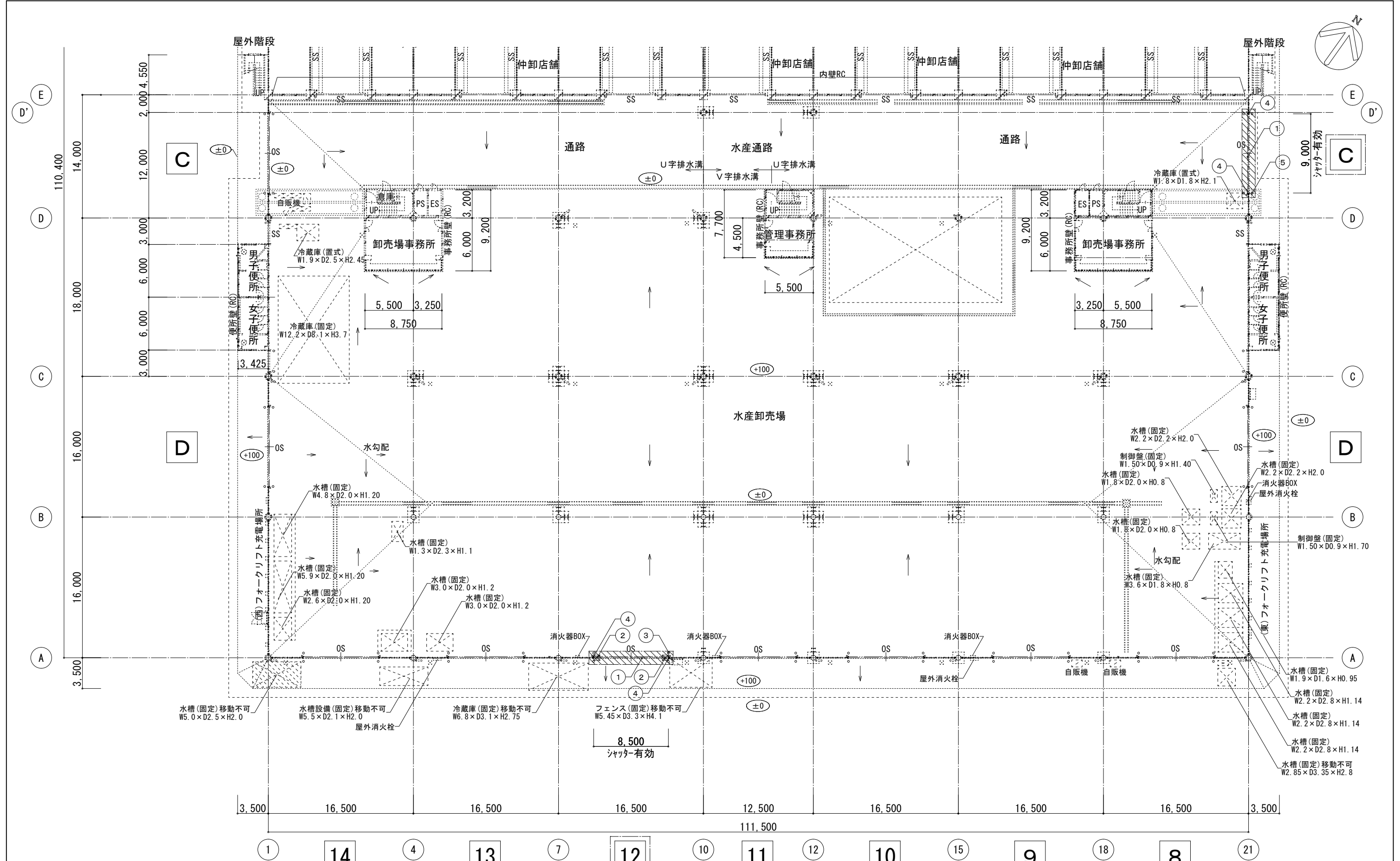
| 番号 | 工事内容                      |
|----|---------------------------|
| 1  | オーバースライダー新設               |
| 2  | 土間復旧                      |
| 3  | ガードパイプ新設×4ヶ所              |
| 4  | 鉄骨間柱新設 DP塗り, 外装パネル新設      |
| 5  | 既存鉄骨間柱 DP塗り, 柱脚部根巻新設 H300 |
| 6  | 既存鉄骨間柱 DP塗り               |
| 7  | ガードパイプ DP塗り×4ヶ所           |

1階 平面図 S=1/200

- 共通事項
- 改修を示す
  - 工事部分を示す
  - : 既存出入口サインを示す

|          |                  |    |                      |      |      |
|----------|------------------|----|----------------------|------|------|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |    |                      | N o. | A-13 |
| 図面名      | 1階 平面図 (改修図)     | 縮尺 | A1:1/200<br>A3:1/400 |      |      |
| 岡山市市場事業部 |                  |    | 令和6年12月              |      |      |
| 建築       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査  | 課員   |
| 設備       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査  | 課員   |





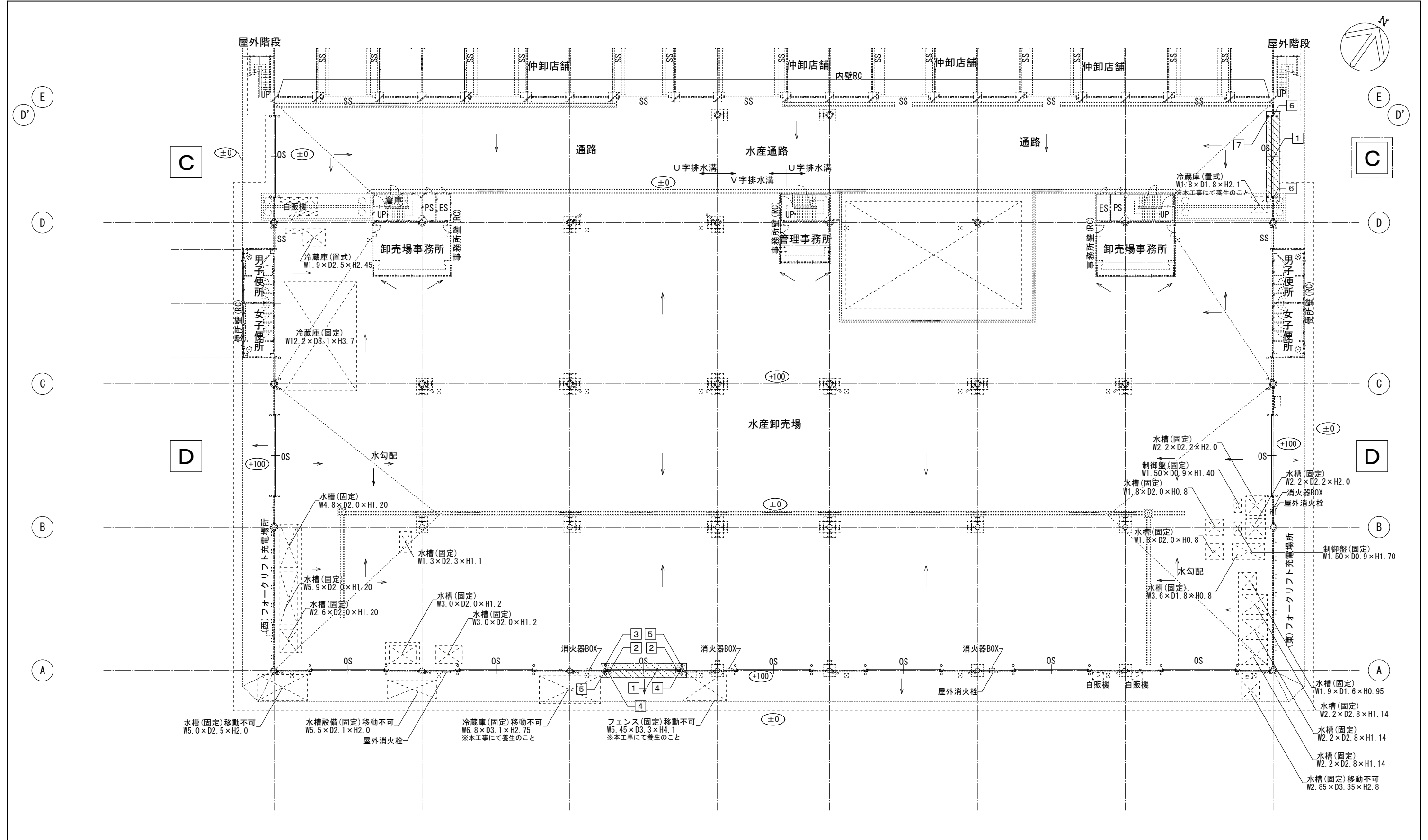
\* 撤去工事リスト

| 番号 | 工事内容                 |
|----|----------------------|
| ①  | オーバースライダー撤去          |
| ②  | 土間撤去                 |
| ③  | ガードパイプ撤去×4ヶ所         |
| ④  | 鉄骨間柱 下地調整(RB種)       |
| ⑤  | ガードパイプ 下地調整(RB種)×4ヶ所 |

1階 平面図 S=1/200

- 共通事項
- 撤去を示す
  - 工事部分を示す
  - : 既存出入口サインを示す

|          |                  |    |                      |                 |      |      |
|----------|------------------|----|----------------------|-----------------|------|------|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |    |                      |                 | N o. | A-12 |
| 図面名      | 1階 平面図 (解体撤去図)   | 縮尺 | A1:1/200<br>A3:1/400 | 作成者             |      |      |
| 岡山市市場事業部 |                  |    | 令和6年12月              | 株式会社 U. D. D 設計 |      |      |
| 建築       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査             | 課員   | 担当   |
| 設備       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査             | 課員   | 担当   |



\* 改修工事リスト

| 番号 | 工事内容                     |
|----|--------------------------|
| 1  | オーバースライダー新設              |
| 2  | 土間復旧                     |
| 3  | ガードパイプ新設×4ヶ所             |
| 4  | 鉄骨間柱新設 DP塗り、外装パネル新設      |
| 5  | 既存鉄骨間柱 DP塗り、柱脚部根巻新設 H300 |
| 6  | 既存鉄骨間柱 DP塗り              |
| 7  | ガードパイプ DP塗り×4ヶ所          |

1階 平面図 S=1/200

- 共通事項
- 改修を示す
  - 工事部分を示す
  - : 既存出入口サインを示す

|          |                  |         |                      |      |
|----------|------------------|---------|----------------------|------|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |         | No.                  | A-13 |
| 図面名      | 1階 平面図 (改修図)     | 縮尺      | A1:1/200<br>A3:1/400 |      |
| 岡山市市場事業部 |                  | 令和6年12月 |                      |      |
| 建築       | 課長               | 主幹      | 課長補佐                 | 副主査  |
| 設備       | 課長               | 主幹      | 課長補佐                 | 副主査  |





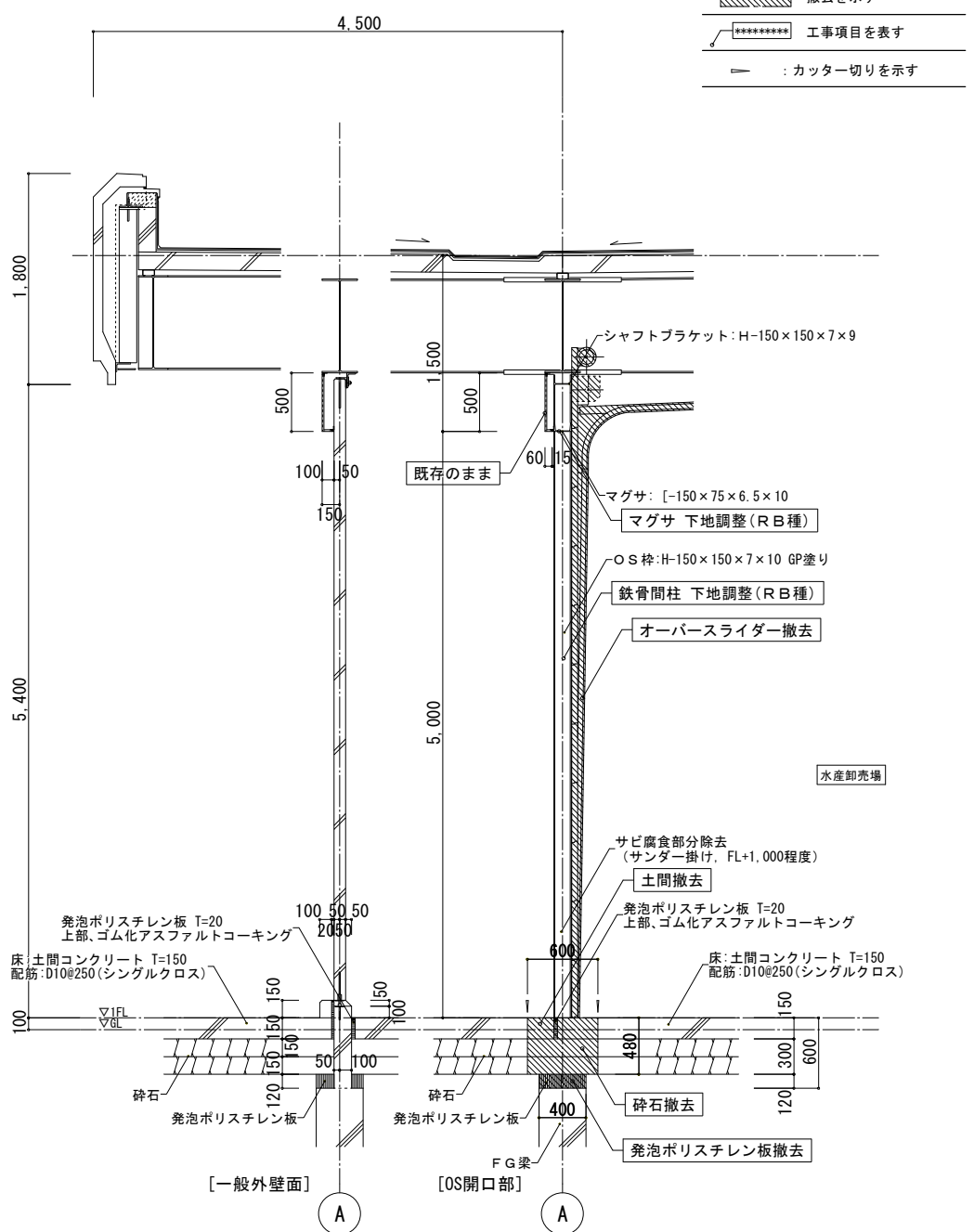
【撤去図】

共通事項【12】の撤去

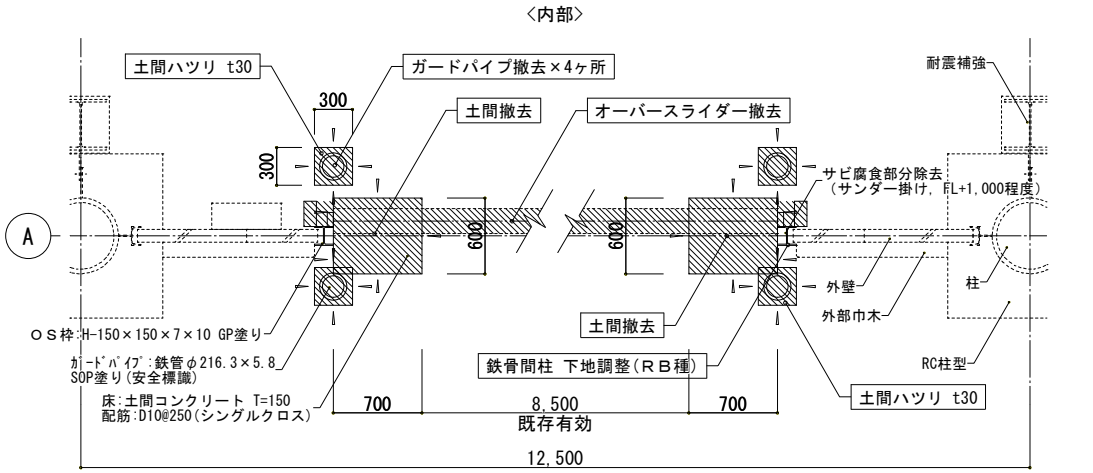
撤去を示す

工事項目を表す

：カッター切りを示す



断面詳細図（撤去図） S=1/30



部分平面詳細図（撤去図） S=1/30

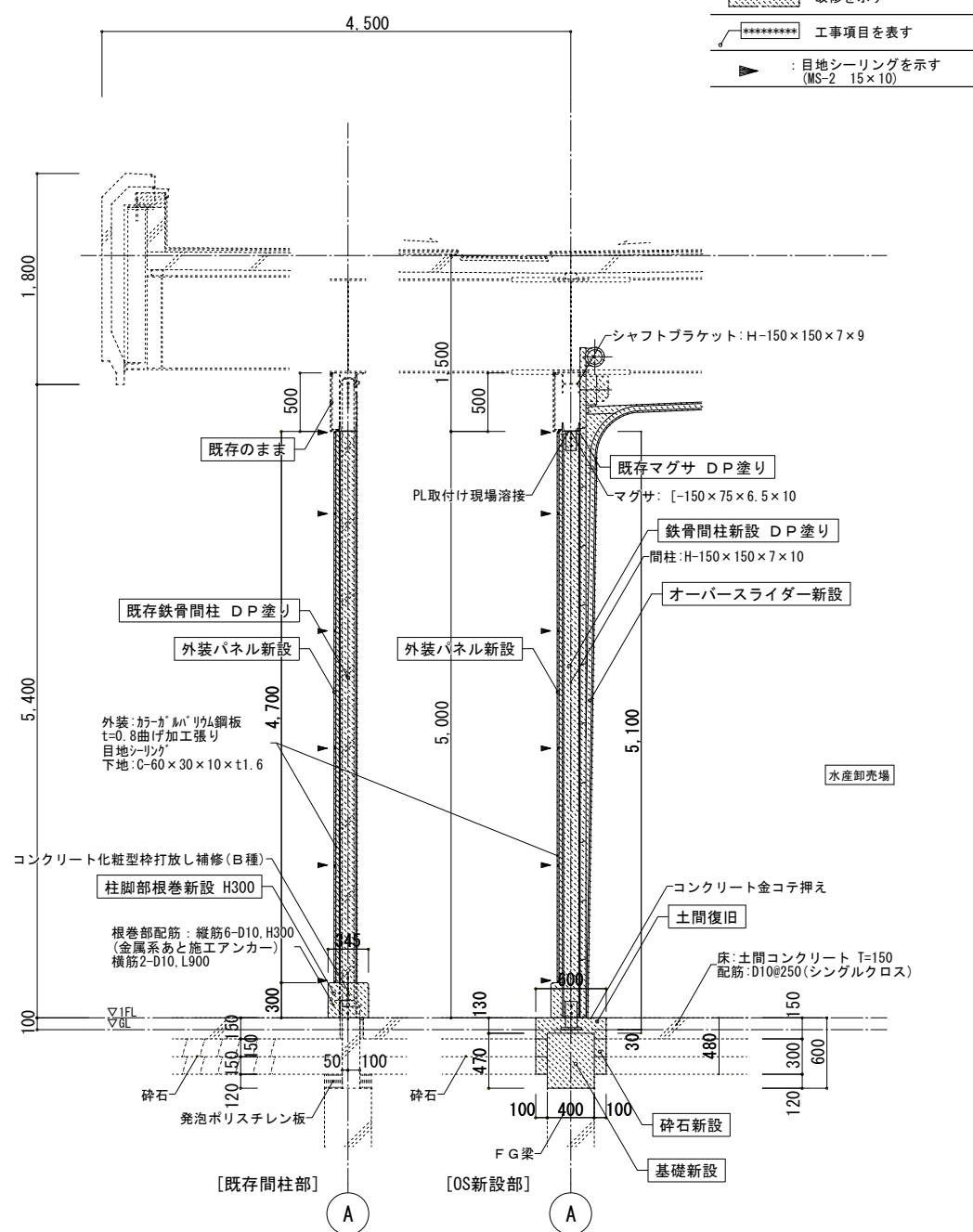
【改修図】

共通事項【12】の改修

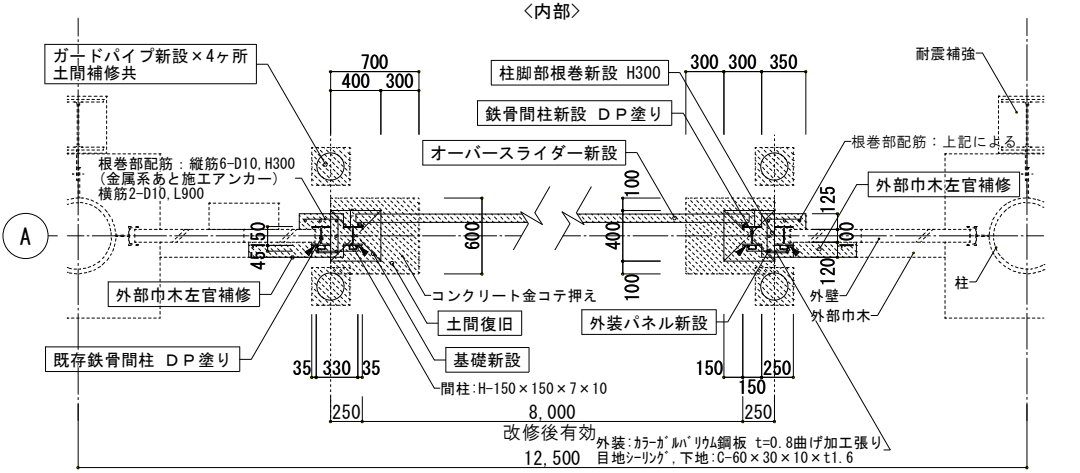
改修を示す

工事項目を表す

：目地シーリングを示す (MS-2 15×10)

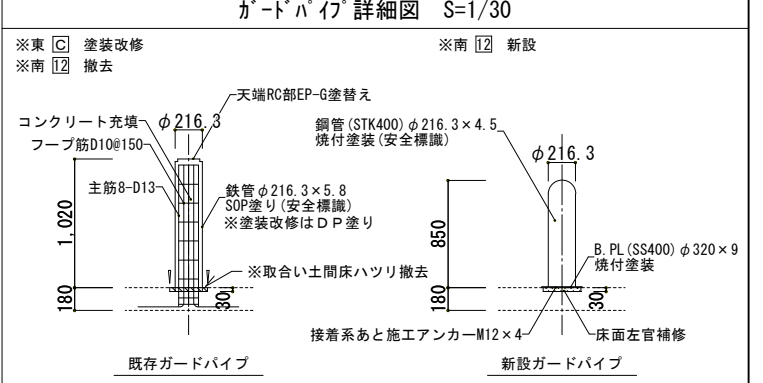
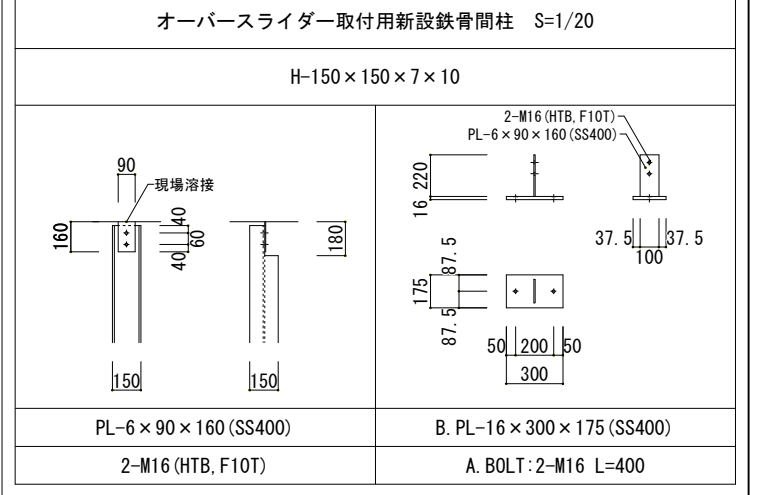
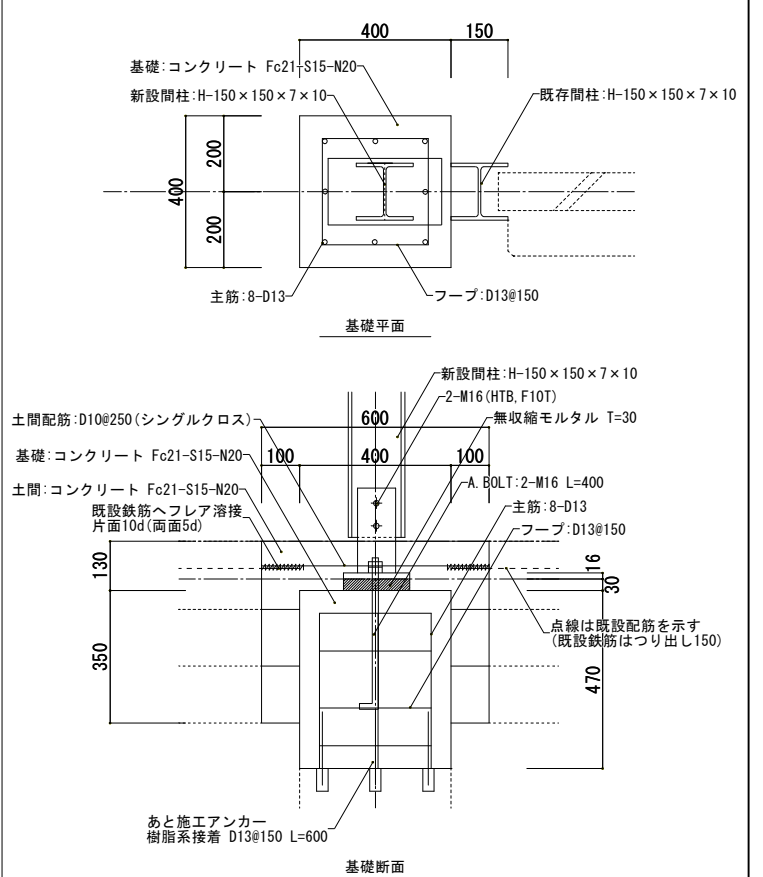


断面詳細図（改修図） S=1/30

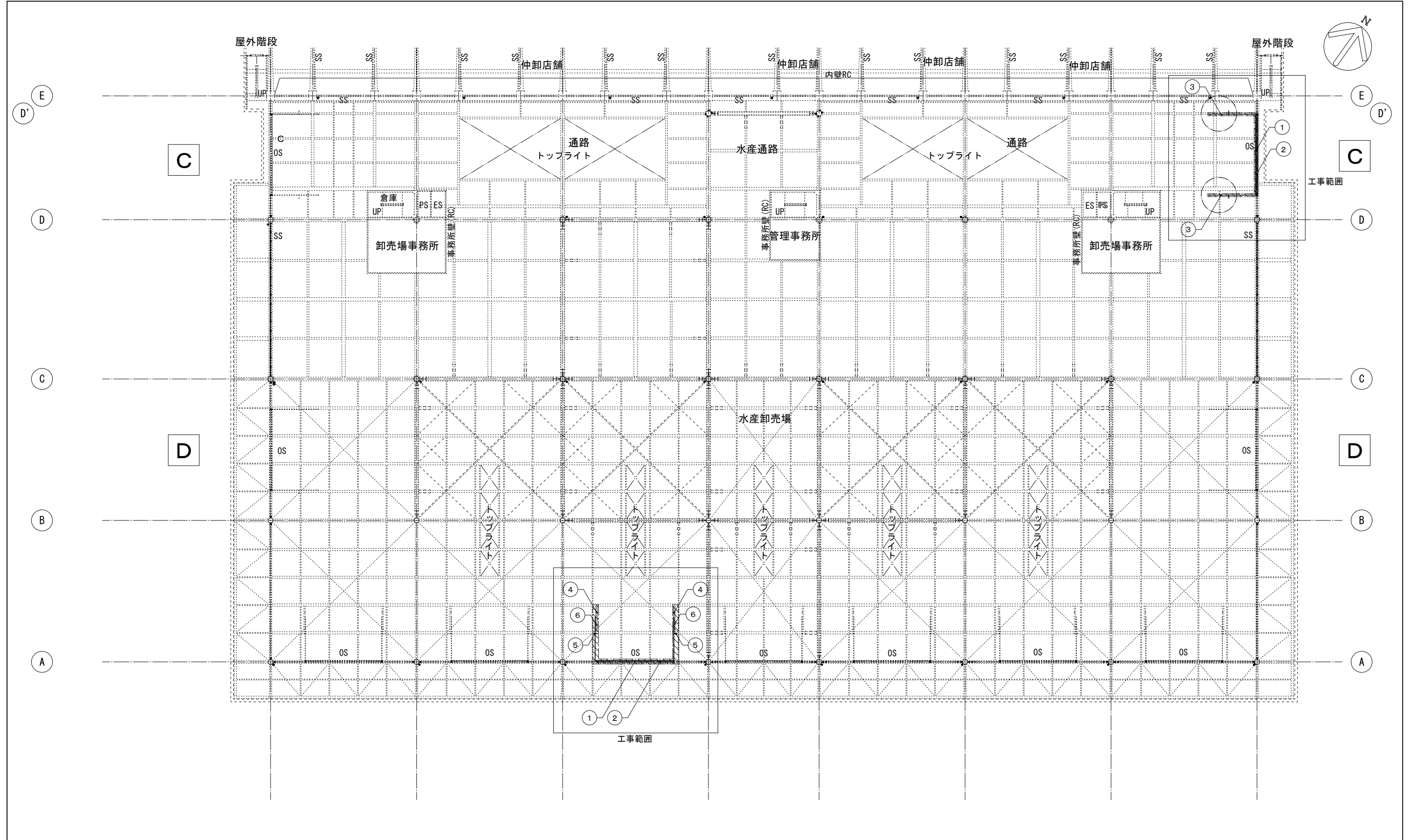


部分平面詳細図（改修図） S=1/30

基礎詳細図（改修） S=1/10



|     |                 |    |                      |         |      |
|-----|-----------------|----|----------------------|---------|------|
| 工事名 | 水産棟オーバーライダー改修工事 |    |                      | N. No.  | A-15 |
| 図面名 | 詳細図（撤去・改修）      | 縮尺 | A1: 1/30<br>A3: 1/60 | 担当者     |      |
| 建築  | 岡山市市場事業部        |    |                      | 令和6年12月 |      |
| 設備  | 課長              | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査     | 課員   |
|     |                 |    |                      |         | 担当   |
|     |                 |    |                      |         | 承認   |
|     |                 |    |                      |         | 検印   |
|     |                 |    |                      |         | 製図   |



\* 撤去工事リスト

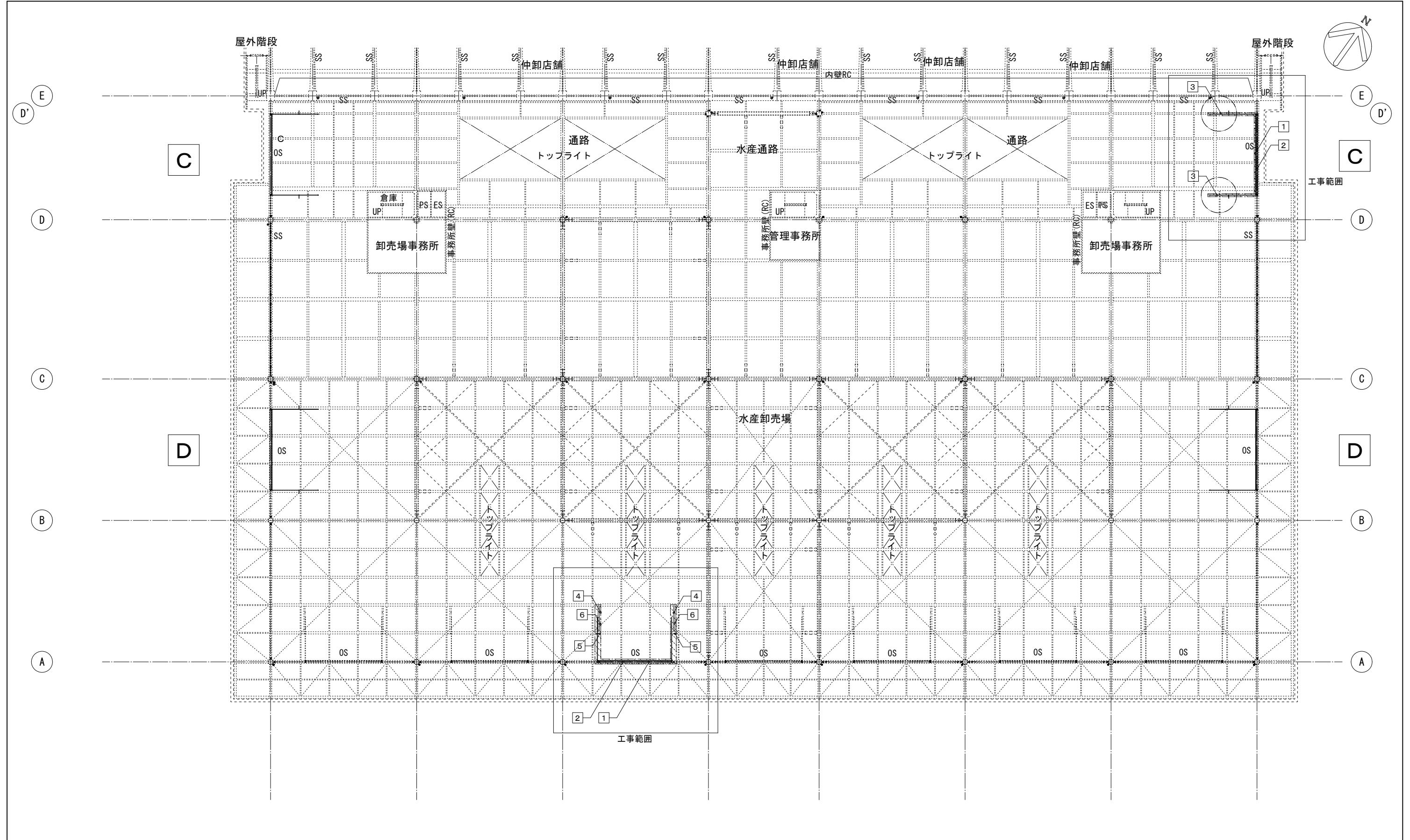
| 番号 | 工事内容  |
|----|---|
| ①  | オーバースライダー撤去                                   |
| ②  | 既存鉄骨マガサ 既存塗膜除去 (RB種)                          |
| ③  | レール吊下げ下地【既存利用】                                |
| ④  | 吊下げ材 (L-40×40×5 L=460) 撤去 ※ジャック工事             |
| ⑤  | 吊下げ材 組 (L-40×40×5, 500×500×600) 撤去 ※ジャック工事    |
| ⑥  | 水平レール受材 ([-150×75×6.5×10, L=3,600) 撤去 ※ジャック工事 |

- 共通事項
- 撤去を示す
  - 工事部分を示す
  - : 既存出入口サインを示す

1階 天井伏図 S=1/200

|          |                  |    |                      |         |      |
|----------|------------------|----|----------------------|---------|------|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |    |                      | No.     | A-16 |
| 図面名      | 1階 天井伏図 (解体撤去図)  | 縮尺 | A1:1/200<br>A3:1/400 |         |      |
| 岡山市市場事業部 |                  |    |                      | 令和6年12月 |      |
| 建築       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査     | 課員   |
| 設備       | 課長               | 主幹 | 課長補佐                 | 副主査     | 課員   |

株式会社 U. D. D 設計  
 〒108-0208 東京都港区三軒3丁目1-10号  
 TEL: 03-5561-2288 FAX: 03-5561-2282  
 一級建築士事務所登録 岡第12147号  
 一級建築士 海野 雅之



\* 改修工事リスト

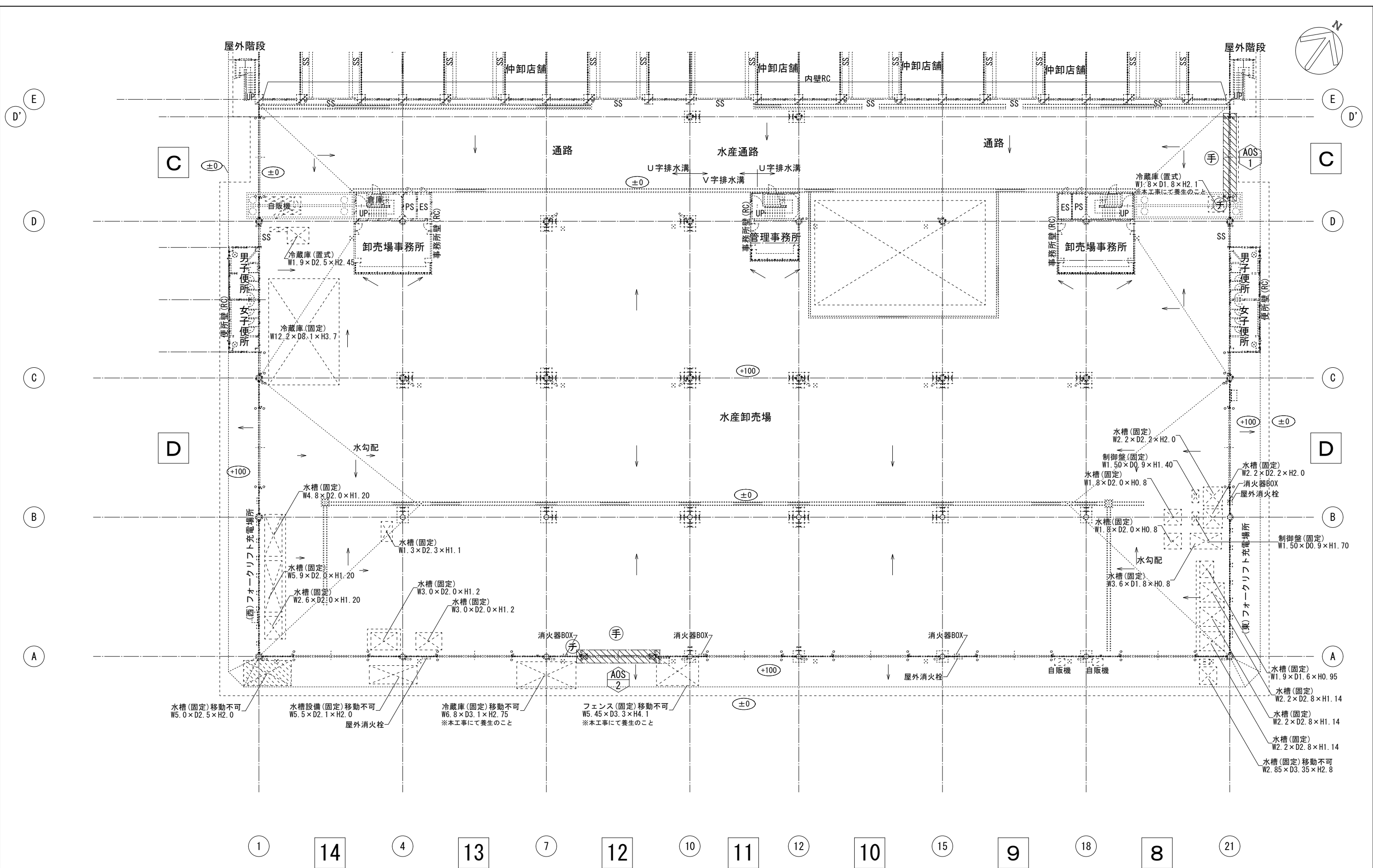
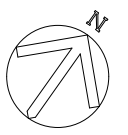
| 番号 | 工事内容  |
|----|---|
| 1  | オーバースライダー新設                                 |
| 2  | 既存鉄骨マガサ DP塗り                                |
| 3  | レール吊下げ下地【既存利用】                              |
| 4  | 吊下げ材(L-40×40×5 L=460)新設 ※ジャック工事             |
| 5  | 吊下げ材組(L-40×40×5,500×500×600)新設 ※ジャック工事      |
| 6  | 水平レール受材(L-150×75×6.5×10, L=3,600)新設 ※ジャック工事 |

- 共通事項
- 改修を示す
  - 工事部分を示す
  - : 既存出入口サインを示す

1階 天井伏図 S=1/200

|          |                  |         |                      |     |      |
|----------|------------------|---------|----------------------|-----|------|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事 |         |                      | No. | A-17 |
| 図面名      | 1階 天井伏図 (改修図)    | 縮尺      | A1:1/200<br>A3:1/400 |     |      |
| 岡山市市場事業部 |                  | 令和6年12月 |                      |     |      |
| 建築       | 課長               | 主幹      | 課長補佐                 | 副主査 | 課員   |
| 設備       | 課長               | 主幹      | 課長補佐                 | 副主査 | 課員   |

株式会社 U. D. D 設計  
 〒108-0208 東京都港区三軒3丁目1-10号  
 TEL: 03-5561-2288 FAX: 03-5561-2282  
 一級建築士事務所登録 岡第12147号  
 一級建築士 海野 雅之



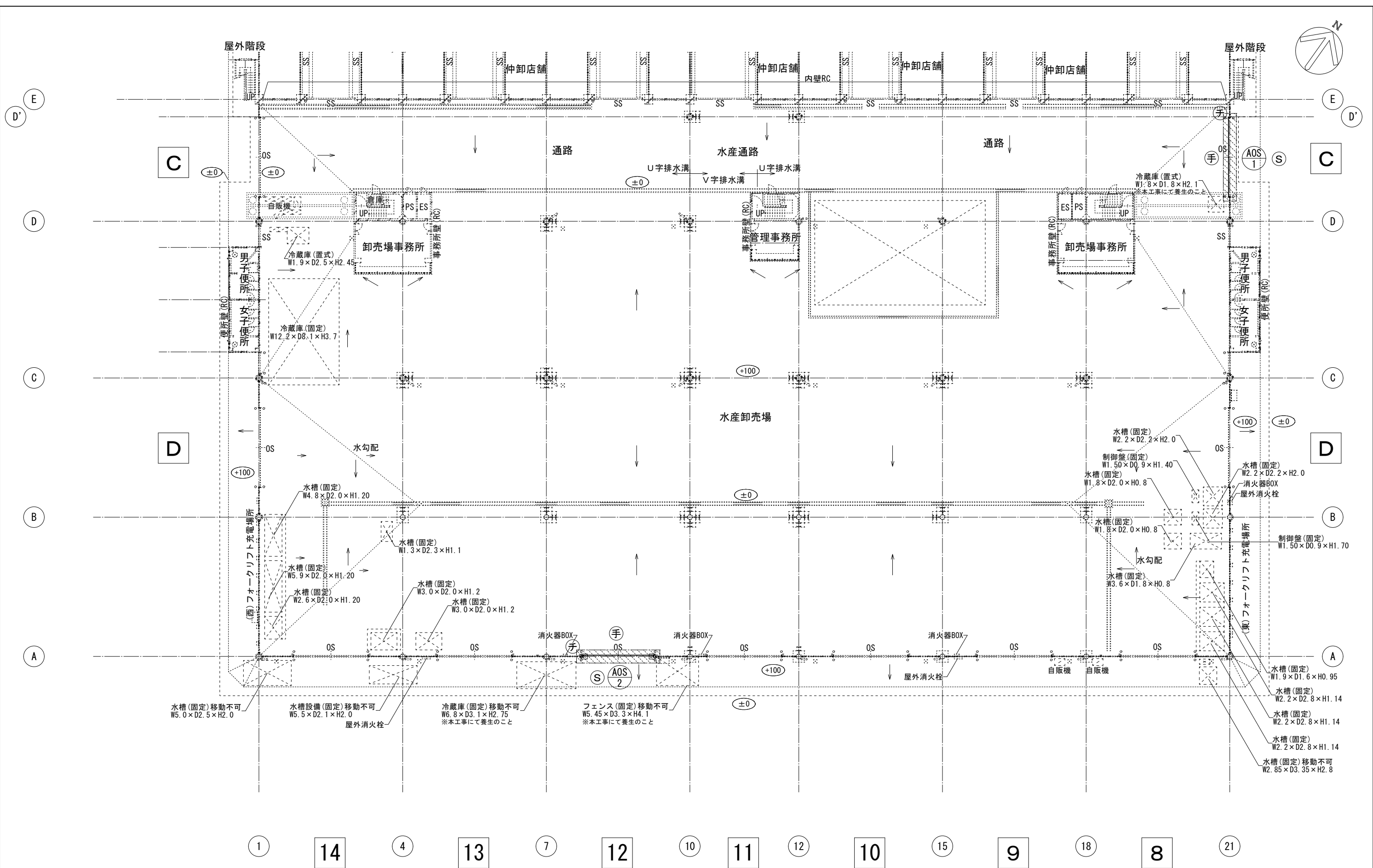
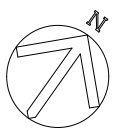
- 建具符号凡例**
- : 既存建具 (撤去・処分)
  - : 手動式
  - : チェーンホイスト (1/4減速)

1階 建具伏図 S=1/200

- 共通事項**
- 撤去を示す
  - : 既存出入口サインを示す

|          |                   |     |                      |  |                 |
|----------|-------------------|-----|----------------------|--|-----------------|
| 工事名      | 水産操オーバースライダー改修工事  |     |                      | No.  | A-18            |
| 図面名      | 1階 建具伏図 (解体撤去図)   | 縮尺  | A1:1/200<br>A3:1/400 | 設計者  | 株式会社 U. D. D 設計 |
| 岡山市市場事業部 |                   | 担当者 | 令和6年12月              | 株式会社 U. D. D 設計<br>岡山県岡山市東区千鳥3丁目1-9<br>TEL:083-258-7400 FAX:083-252-1292<br>一級建築士事務所登録 岡第12147号<br>一級建築士 海野 雅之 |                 |
| 建築       | 課長 主幹 課長補佐 副主査 課員 | 担当者 |                      | 承認   | 検印              |
| 設備       | 課長 主幹 課長補佐 副主査 課員 | 担当者 |                      | 承認   | 検印              |





- 建具符号凡例**
- ⊛ : 新設建具
  - ⊙ : 手動式
  - ⊚ : チェーンホイスト (1/4 減速)
  - ⊠ : 急降下停止装置 (S ブレード)

1階 建具伏図 S=1/200

- 共通事項**
- 改修を示す
  - : 既存出入口サインを示す

|     |                   |     |                      |     |   |
|-----|-------------------|-----|----------------------|-----|---|
| 工事名 | 水産棟オーバースライダー改修工事  |     |                      | No. | A-19  |
| 図面名 | 1階 建具伏図 (改修図)     | 縮尺  | A1:1/200<br>A3:1/400 | 設計者 | 株式会社 U. D. D 設計   |
| 建築  | 岡山市市場事業部          | 担当者 | 令和 6 年 1 2 月         | 承認者 | 株式会社 U. D. D 設計<br>〒108-0028 東京都港区三軒3丁目1-1<br>TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112<br>一級建築士事務所登録 岡第 12147 号<br>一級建築士 海野 雅之 |
| 設備  | 課長 主幹 課長補佐 副主査 課員 | 担当者 |                      | 承認  | 検閲 製図   |



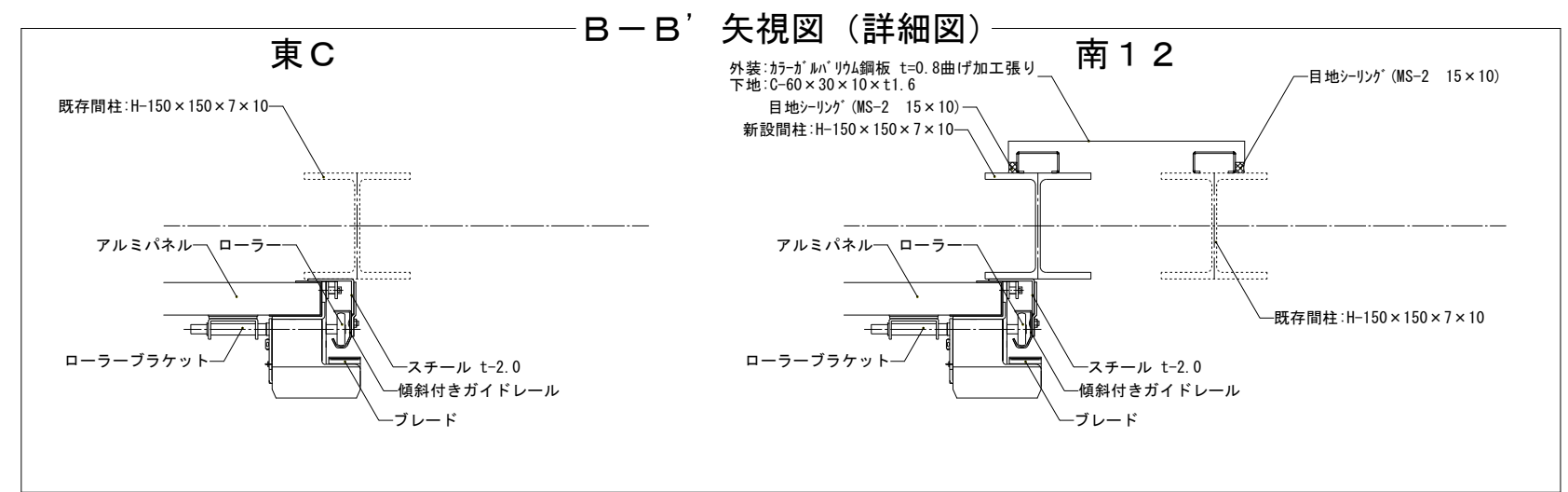
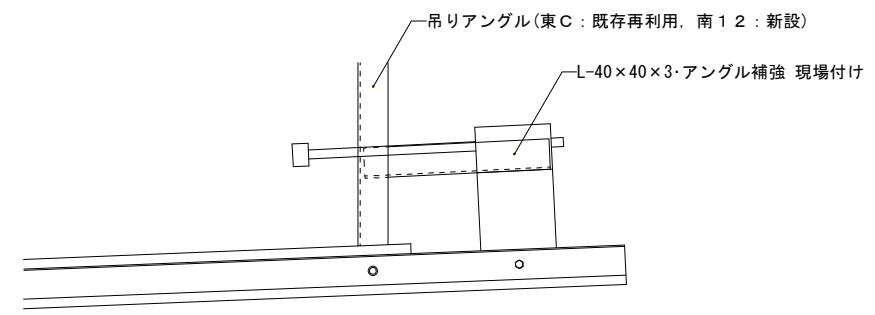
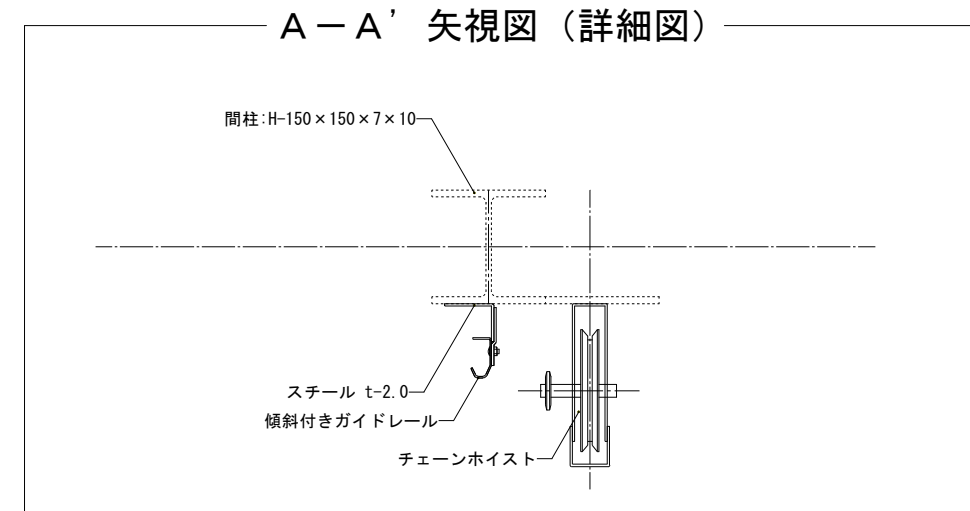
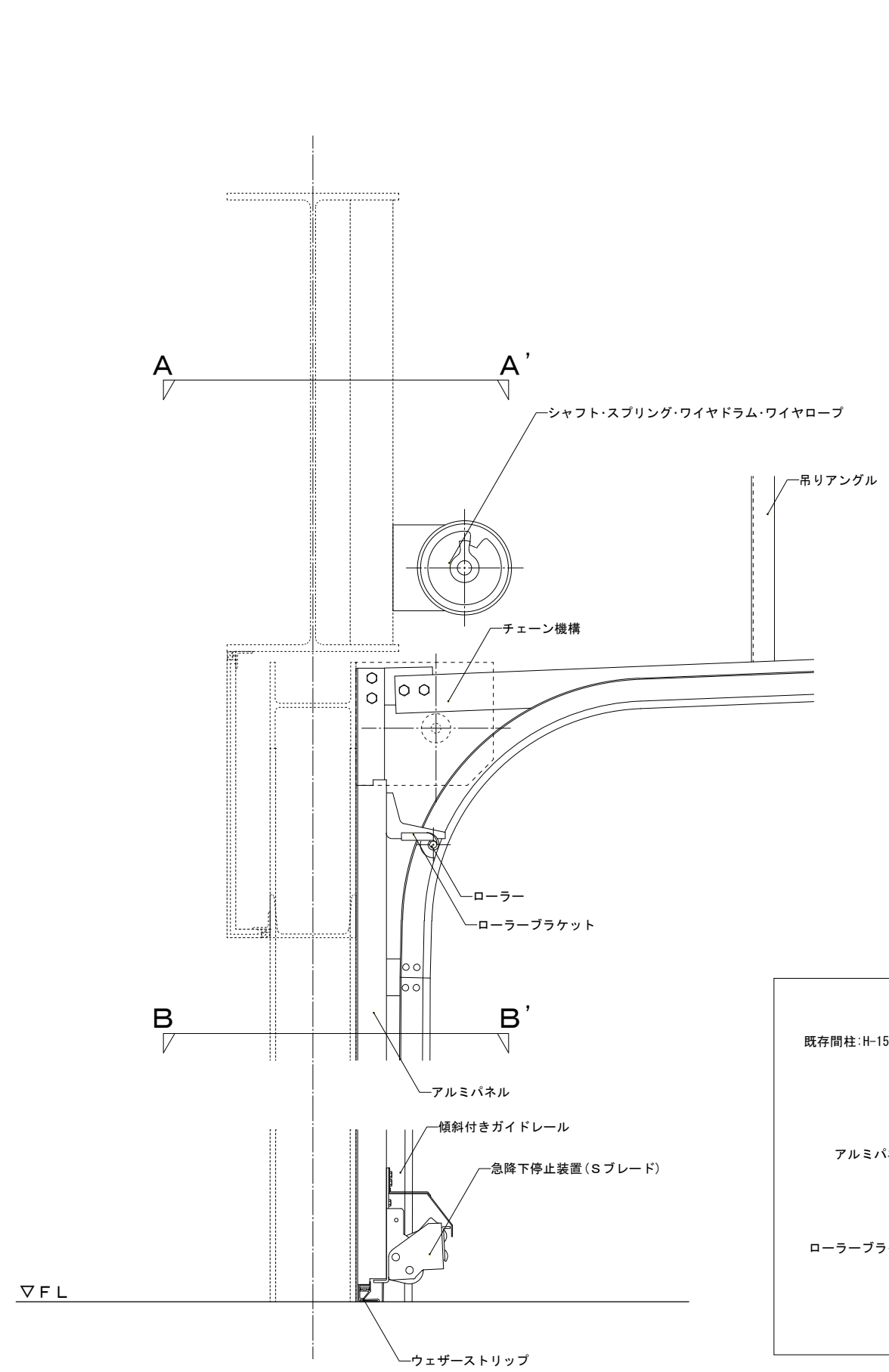
|     |    |                                 |       |                             |       |   |                                 |                             |       |   |  |
|-----|----|---------------------------------|-------|-----------------------------|-------|---|---------------------------------|-----------------------------|-------|---|--|
| 符号  | 型式 | 数量                              | AOS 1 | 手動式(チェーン式)重量オーバーライダー【撤去・処分】 | (鉄骨用) | 1 | AOS 2                           | 手動式(チェーン式)重量オーバーライダー【撤去・処分】 | (鉄骨用) | 1 |  |
| 姿   | 図  |                                 |       |                             |       |   |                                 |                             |       |   |  |
| ▽FL |    | <p>DW = W + 50</p> <p>9,000</p> |       |                             |       |   | <p>DW = W + 50</p> <p>8,500</p> |                             |       |   |  |

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 場 所   | 水産卸売場   | 水産卸売場   |
| 見 込   | 150 (既存)  | 150 (既存)  |
| 材質・仕上 | パネル:カラーアルミ  | パネル:カラーアルミ  |
| 硝 子   | -   | -   |
| 金 物   | ガイドレール、シャフト、ブラケット、スプリング、ワイヤドラム、ワイヤロープ、ローラ、ローラブラケット、チェーン機構 | ガイドレール、シャフト、ブラケット、スプリング、ワイヤドラム、ワイヤロープ、ローラ、ローラブラケット、チェーン機構 |
| 備 考   | 付属金物一式、レール吊り金物(既存利用)                                      | 付属金物一式、レール吊り金物(撤去)  |

|     |    |                                 |       |                          |       |   |                                 |                          |       |   |  |
|-----|----|---------------------------------|-------|--------------------------|-------|---|---------------------------------|--------------------------|-------|---|--|
| 符号  | 型式 | 数量                              | AOS 1 | 手動式(チェーン式)重量オーバーライダー【新設】 | (鉄骨用) | 1 | AOS 2                           | 手動式(チェーン式)重量オーバーライダー【新設】 | (鉄骨用) | 1 |  |
| 姿   | 図  |                                 |       |                          |       |   |                                 |                          |       |   |  |
| ▽FL |    | <p>DW = W + 50</p> <p>9,000</p> |       |                          |       |   | <p>DW = W + 50</p> <p>8,000</p> |                          |       |   |  |

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 場 所   | 水産卸売場  | 水産卸売場  |
| 見 込   | 150 (既存)   | 150 (既存)   |
| 材質・仕上 | パネル:カラーアルミ(ピッチ504・ホワイト)、エンボス加工、かまち(アルミ)、合じやくり  | パネル:カラーアルミ(ピッチ504・ホワイト)、エンボス加工、かまち(アルミ)、合じやくり  |
| 硝 子   | -  | -  |
| 金 物   | ガイドレール、シャフト、ブラケット、スプリング、ワイヤドラム(SPドラム)、ワイヤロープ、ローラ、ローラブラケット<br>急降下停止装置(Sブレード)、チェーンホイスト、ウェザーストリップ | ガイドレール、シャフト、ブラケット、スプリング、ワイヤドラム(SPドラム)、ワイヤロープ、ローラ、ローラブラケット<br>急降下停止装置(Sブレード)、チェーンホイスト、ウェザーストリップ |
| 備 考   | 付属金物一式、レール吊り金物(既存利用)   | 付属金物一式、レール吊り金物(新設)   |

|     |           |  |                |  |        |  |     |  |                 |  |         |  |   |  |
|-----|-----------|--|----------------|--|--------|--|-----|--|-----------------|--|---------|--|---|--|
| 特 記 | 種の形状材質    |  | ○特記なき場合は、Aとする。 |  | ガラリの形状 |  | 工事名 |  | 水産棟オーバーライダー改修工事 |  | No.     |  | A-20  |  |
|     | A B C D E |  | A B            |  | A B    |  | 図面名 |  | 建具リスト(撤去・新設)    |  | 縮尺      |  | A1:1/50<br>A3:1/100   |  |
|     | <つづりの形状   |  | A なし B C D     |  | C D    |  | 建築  |  | 岡山市市場事業部        |  | 令和6年12月 |  | 株式会社 U・D 設計   |  |
|     | E F G     |  | E F G          |  | E F G  |  | 設備  |  | 岡山市市場事業部        |  | 担当      |  | 株式会社 U・D 設計<br>〒750-0204 岡山県岡山市東区1-1-1<br>TEL:086-824-1111 FAX:086-824-1112<br>一級建築士事務所登録 岡第12147号<br>一級建築士 海野 雅之 |  |



|          |                      |      |     |    |     |    |   |                   |              |  |
|----------|----------------------|------|-----|----|-----|----|---|-------------------|--------------|--|
| 工事名      | 水産棟オーバースライダー改修工事     |      |     |    |     |    | No.   | A-21              |              |  |
| 図面名      | オーバースライダー納まり詳細図(参考図) |      |     |    |     |    | 縮尺  | A1:1/5<br>A3:1/10 |              |  |
| 岡山市市場事業部 |                      |      |     |    |     |    | 令和6年12月   |                   | 株式会社 U.D. 設計 |  |
| 課長       | 主幹                   | 課長補佐 | 副主査 | 課員 | 担当者 |    | 株式会社 U.D. 設計<br>岡山県岡山市東区一丁目3番11号<br>TEL: 086-828-1111 FAX: 086-828-1112<br>一級建築士事務所登録 岡築12147号<br>一級建築士 海野 雅之 |                   |              |  |
| 課長       | 主幹                   | 課長補佐 | 副主査 | 課員 | 担当者 | 承認 | 検印  | 製図                |              |  |